

基準7 学生支援等

資料7-1-①-1

オフィスアワーの実施（代表例）

対象学科	電気情報工学科	担当教員	電気情報工学科 ■■■■		
授業科目名	電気磁気学Ⅰ	科目コード			
学年	2 学年	開講学期	通年	単位数	2 単位
区分	必修	授業の形態		単位種類	
授業概要	この講義は本校の教育目標のうち「基礎力」を養う科目である。 電気磁気学は、電気回路と並んで電気工学の重要な基礎科目の1つであり、目に見えない電気磁気現象を工学的に理解するための基礎知識を習得するものである。 本科目は2年、3年、4年で3年間履修し最終的には電磁方程式を理解することを目標とする。 なお本科目の初期段階では数学の進度に応じて、微積分・ベクトルについても教授を行う				
関連する本校の学習教育目標	A 技術者としての「基礎力」 専門基礎知識 電気情報工学の基礎知識	関連する JABEE 学習教育目標			
到達目標	電気情報技術者として、電気磁気現象の基礎的法則を理解し、応用できる能力を身につける。具体的には (1) 静電気とその性質を理解し、電荷間に働く「クーロンの法則」を習得する。 (2) 静電界における「電界の強さ」、「電位」および「ガウスの定理」を習得する。 (3) 「導体」、「不導体」、「誘電体」を理解し、誘電体中の諸定理を理解する。 (4) 静電容量について理解し、簡単な計算ができるようにする。				
授業の進め方とアドバイス	1 時間を講義、2 時間を問題演習して理解を深める。講義および演習は教科書および配布プリントを中心に進める。また適宜、小テストおよび課題レポートを行う。 課題レポートについては、創造性を育む目的で創造的な課題(例は授業スケジュール)を含める。 微積分・ベクトルを用いるため、数学の進捗にあわせて授業を進める。 質問は、授業終了後、休憩時間等、随時受け付ける。なお、毎週金曜日の17時～18時をオフィスアワーとします。(■■■■研究室 電気情報工学科棟 2F)				

(出典 校外向けWebページ シラバス)

資料 7-1-①-2

専攻科生 T A による質問受付教室（実施内容、参加人数、満足度）

H25 年度 前期末試験 ティーチングアシスタント 人員配置

前期末試験対策の特訓教室および質問受付教室を以下の体制で実施します。

H25.6.26

①成績不振者(本科1～2年生)を対象とした特訓教室

開催日: 平成 25 年 7 月 22 日(月)～平成 25 年 7 月 31 日(水)

②低学年(本科1～3年生)を対象とした質問受付教室

開催日: 平成 25 年 7 月 25 日(木)～平成 25 年 7 月 31 日(水)

開催時間: 午後 3 時 30 分～午後 6 時 30 分(8～10 限)

開催場所: 講義室 2

監督: 教務主事補



①特訓教室 & ②質問受付教室

日付	7月25日(木)	7月26日(金)	7月29日(月)	7月30日(火)	7月31日(水)
教務主事補	※	※	※	※	※
担当 TA①					
対応可能科目	数学全般 物理全般 化学全般	数学全般 物理全般 化学全般	数学全般 物理全般 化学全般	数学全般 物理全般 化学全般	数学全般 物理全般 化学全般
	材料力学 工業力学 機構学	材料力学 工業力学 機構学	材料力学 工業力学 機構学	材料力学 工業力学 機構学	材料力学 工業力学 機構学
	電気回路 電気磁気 情報処理 電子デバイス デジタル回路	電気回路 電気磁気 情報処理 電子デバイス デジタル回路	電気回路 電気磁気 情報処理 電子デバイス デジタル回路	電気回路 電気磁気 情報処理 電子デバイス デジタル回路	電気回路 電気磁気 情報処理 電子デバイス デジタル回路
	有機化学 無機化学 生化学	有機化学 無機化学 生化学	有機化学 無機化学 生化学	有機化学 無機化学 生化学	有機化学 無機化学 生化学
	建築構造 建築計画	建築構造 建築力学	建築構造 建築力学	建築構造 建築計画	建築構造 建築計画

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料7-1-①-2

専攻科生TAによる質問受付教室（実施内容、参加人数、満足度）

配布資料〔専攻科TA & 低学年の学習支援〕 No. 1

2013_10_23



図1 専攻科生TA①&②の参加者数

1年生 [6名]				2年生 [21名]						3年生 [18名]				
クラス	M	D	C	クラス	M	E	D	C	A	クラス	M	E	D	A
曜日	4名	1名	1名	曜日	3名	5名	1名	3名	9名	曜日	3名	7名	7名	1名
7月22日	75.0	100	100	7月22日	0.0	80.0	100	0.0	0.0	7月22日	33.3	28.6	0.0	0.0
7月23日	100	100	100	7月23日	0.0	60.0	100	0.0	44.4	7月23日	66.7	28.6	14.3	0.0
7月24日	100	100	100	7月24日	33.3	60.0	100	0.0	44.4	7月24日	66.7	14.3	28.6	0.0
7月25日	100	100	100	7月25日	0.0	80.0	100	0.0	0.0	7月25日	66.7	42.9	28.6	0.0
7月26日	25.0	100	100	7月26日	0.0	60.0	0.0	0.0	11.1	7月26日	33.3	28.6	28.6	0.0
7月29日	100	100	100	7月29日	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	7月29日	66.7	28.6	42.9	0.0
7月30日	75.0	100	100	7月30日	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	7月30日	66.7	0.0	14.3	0.0
7月31日	25.0	100	100	7月31日	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	7月31日	66.7	14.3	57.1	0.0

図2 専攻科生TA①: 特訓教室対象に関する学年別・学科別の参加率 (%)

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料 7-1-①-3

個々の教員による支援の代表例

(低学年の数学や物理科目を担当する教養教育科教員による学習支援)

教養教育科教員(数学)が補習で使用した試験対策用プリント

数学 II (前期中間対策プリント) (13.05.20)

学籍番号 _____ 氏名 _____

※ このプリントはテストに向けて学習するためのプリントであるため、実際のテストよりも問題数はかなり多く、また、テストには出さない基本的な問題や応用問題を含む。

1. $f(x) = -2x + 5$ とする。次の値を求めよ。

(1) $f\left(\frac{3}{2}\right)$ (2) $f(a+1)$ (3) $f(x^2)$ (4) $\{f(x)\}^2$

2. 次の 2 次関数のグラフをかき、頂点の座標・軸の方程式を求めよ。

(1) $y = -x^2 + 3$ (2) $y = 2(x-1)^2 + 3$

(3) $y = 2x^2 + 6x + 12$ (4) $y = -\frac{3}{2}x^2 + 6x - 1$

3. 関数の値について、次の各問に答えよ。

(1) 次の関数の () 内の定義域に対する値域を求めよ。

i. $y = -2x + 3$ ($-1 \leq x \leq 3$) ii. $y = (x-2)^2 + 3$ ($0 < x < 5$)

(2) 次の関数の最大値と最小値を求めよ。また、そのときの x の値も求めよ。

ただし、() のある間では、() 内を定義域とする。

i. $y = 2(x+3)^2 + 4$

ii. $y = -x^2 + 6x + 8$

iii. $y = 3x^2 + 4x$ ($-1 \leq x \leq 1$) iv. $y = -2x^2 - 4x + 5$ ($1 \leq x \leq 3$)

v. $y = (x-2)^2 + 3$ ($0 < x < 5$)

4. 次の条件を満たす 2 次関数を求めよ。

(1) 頂点が $(1, 3)$ で点 $(-1, -5)$ を通る

(2) 直線 $x = -3$ を軸とし、2 点 $(-2, 1), (1, 10)$ を通る

(3) $x = 2$ のとき最大値 5 を取り、 y 軸との交点の座標が $(0, 1)$

(4) 3 点 $(0, 1), (1, 0), (2, 5)$ を通る

(5) 3 点 $(-2, -5), (1, 4), (2, -1)$ を通る

(6) 3 点 $(-1, 6), (2, 0), (3, 18)$ を通る

(7) x 軸と 2 点 $(-1, 0), (2, 0)$ で交わり、 y 軸と $(0, -4)$ で交わる

(8) x 軸と点 $(-2, 0)$ で接し、点 $(1, 6)$ を通る

5. 判別式 D を利用して、次の各問に答えよ。

(1) 放物線 $y = x^2 - 4x + k$ について以下の各問に答えよ。

i. 判別式 D を求めよ。

ii. x 軸と異なる 2 点で交わるように定数 k の値の範囲を定めよ。

(2) 放物線 $y = x^2 + (k+2)x + 6 - k$ について以下の各問に答えよ。

i. x 軸と接するように、定数 k の値を定めよ。

ii. i. のときの接点の x 座標を求めよ。

iii. x 軸と共有点を持たないように、定数 k の値の範囲を定めよ。

6. 次の不等式を解け。

(1) $x - 3 > 3x + 5$

(2) $x^2 - x - 6 \geq 0$

(3) $-x^2 - 7x - 9 \leq 3x^2 + 5x$

(4) $3x^2 - x - 1 < 0$

(5) $2x^2 + 3x + 2 < 0$

(出典 教養教育科資料)

資料 7-1-②-1

米子工業高等専門学校図書館利用規則（開館時間等）

（前略）

（休館日）

第 3 条 休館日は、次のとおりとする。

- （1）日曜日
- （2）国民の祝日に関する法律に規定する休日
- （3）月の末日
- （4）12 月 28 日から翌年 1 月 4 日

2 前項の規定にかかわらず、図書館情報センター長が必要と認めたときは、臨時に休館することがある。

（開館時間）

第 4 条 開館時間は、次のとおりとする。

平日 午前 8 時 30 分から午後 8 時まで

ただし、本校学生の休業日は、午前 8 時 30 分から午後 5 時まで

土曜日 午前 10 時から午後 3 時まで

2 前項の規定にかかわらず、図書館情報センター長が必要と認めたときは、開館時間を変更することがある。

（後略）

（出典 規則集）

資料 7-1-②-2

図書館情報センター利用実績（3 年分）（平成 25 年度は改修工事）

図書館利用者数・貸出図書数の推移

年 度	H 2 2	H 2 3	H 2 4
入館者数（人）	49,745	46,088	48,226
貸出冊数（冊）	9,646	10,298	12,029

（出典 学生課学術情報係資料）

資料7-1-②-3

図書館情報センター利用案内

情報教育施設の利用方法

利用時間は、原則として8:45～17:00とします。

機器の利用方法、設定方法等に関する詳細は情報教育施設の校内向けホームページをご覧ください。

第1端末室・第2端末室・インターネットルーム

8時45分～17時00分の利用

時間割上空いていれば、各自が受講している授業以外の時間でも利用可能です。

使用する場合は、管理室前に設置してある端末より、「オープン利用願」を申請してください。

*「オープン利用願」を提出しないと端末にログオンできません。

17時00分～22時00分の利用

教科担当教官の立会い・監督があれば、利用可能です。

端末室は施錠していますが、教科担当教官へ鍵を貸し出します。当教官は利用予定を、あらかじめ管理室までお知らせください。

(出典 校外向けWeb ページ 図書館情報センター)

資料7-1-②-4

IX 図書館および情報教育センターの利用

図書館情報センターの利用時間

図書館および情報教育センターは、皆さんの学習を支援するための施設です。自学自習、レポートの作成、グループでの学習、ディスカッション等に活用してください。

1. 図書館の利用

開館時間と休館日

平日 8時30分～20時（長期休業の期間は8時30分～17時）

土曜日 10時～15時（長期休業の期間は休館）

休館日 日曜日，国民の休日，年末・年始

（図書館情報センターホームページの開館カレンダーをご覧ください。）

利用できる場所

ホール：雑誌・新聞・図書・資料の閲覧のほか、ディスカッションに利用できます。学習の場ですから、大声での会話など他人に迷惑がかかるような行為は慎みましょう。

閲覧室：静かに学習しましょう。閲覧室への飲食物持込はできません。

創造ゼミナール室1・2：授業が行われている時間以外はグループでの学習やディスカッションに使用できます。使用を希望するときは、図書館カウンターで手続きをしてください。

アカデミックシアター：常時開放しています。自習に使用してください。

(出典 平成26年度学生便覧 P.38)

新入生の皆さん 図書館へようこそ

本の貸出には「学生証」が必要です。
※写真、検印のないものは利用できませんのでご注意ください。

貸出冊数：5冊まで 貸出期間：2週間以内

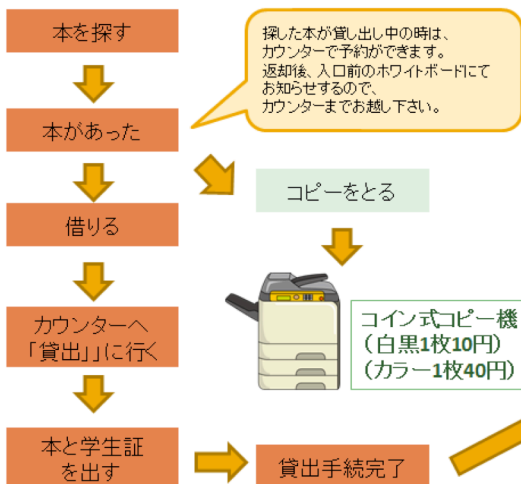
☆本の探し方☆

- ・分類で探す
書架に分類が置いてあります。
本の探し方がわからない人は、気軽にカウンターで聞いてください。
※新しく入荷した本は、入口近くにあります。

- ・パソコンで探す

図書館内にある検索専用PCをご利用ください。
自宅等インターネットに接続しているPCなら何処からでも検索できます。

図書館では、新聞やDVDも見ることができます。
(貸出はできません)



貸出できない場合

- ①現在、1冊でも返却延滞本がある
- ②学生証を忘れた
- ③禁帯出の本

※背表紙に赤ラベルで「禁帯出」と書いてあります。

本を返却する

返却の時は、本をカウンターに持ってくるだけでOKです。
予約が入ってしまえば続けて借りることができます。
延長をしたい場合は、延滞になる前に「学生証」と「本」を
カウンターに持って来て下さい。

(出典 図書館利用オリエンテーション資料、学生課学術情報係資料)

資料7-1-②-6

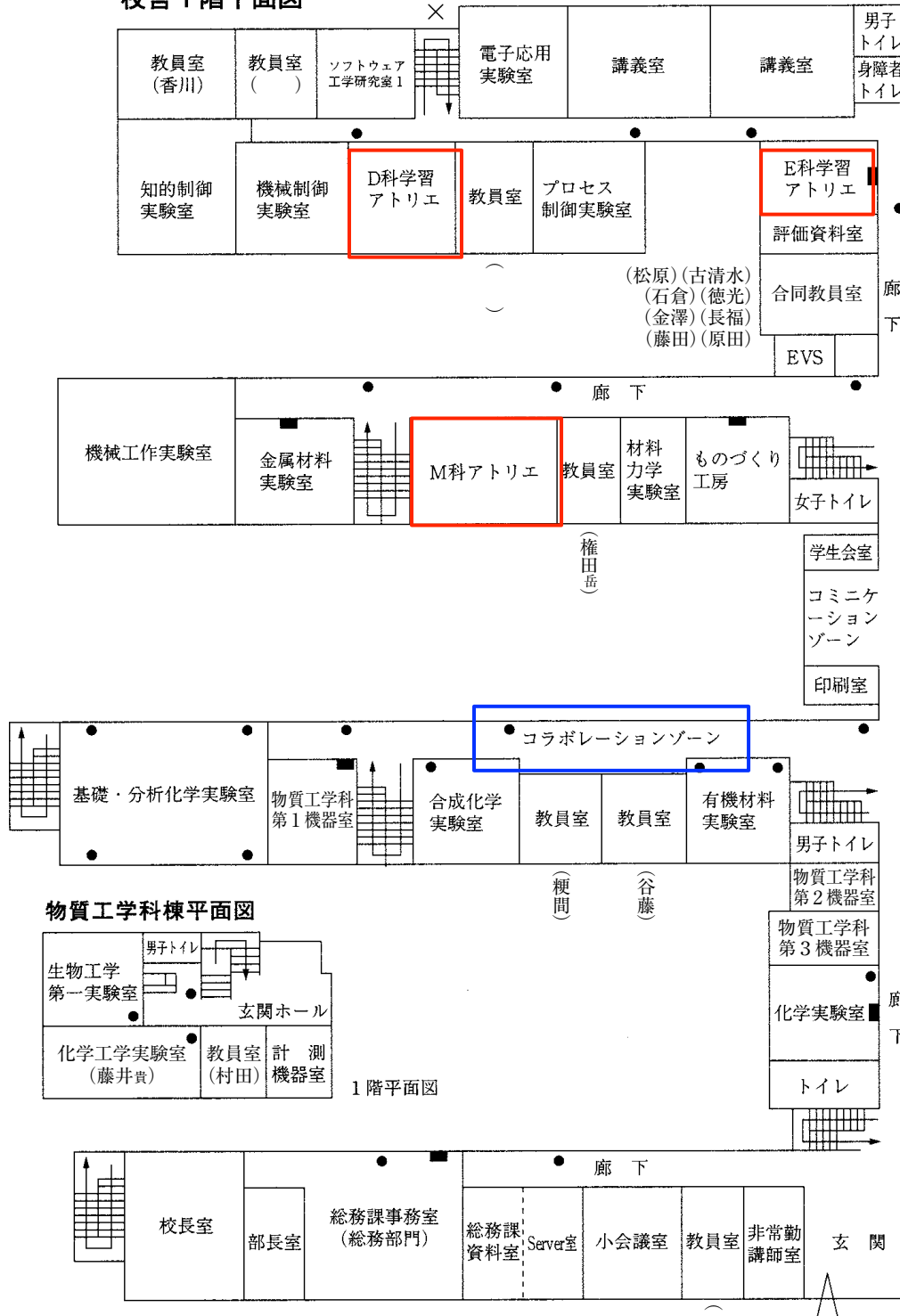
CALL教室内写真



(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料7-1-②-7
各施設の配置 校舎1階南側

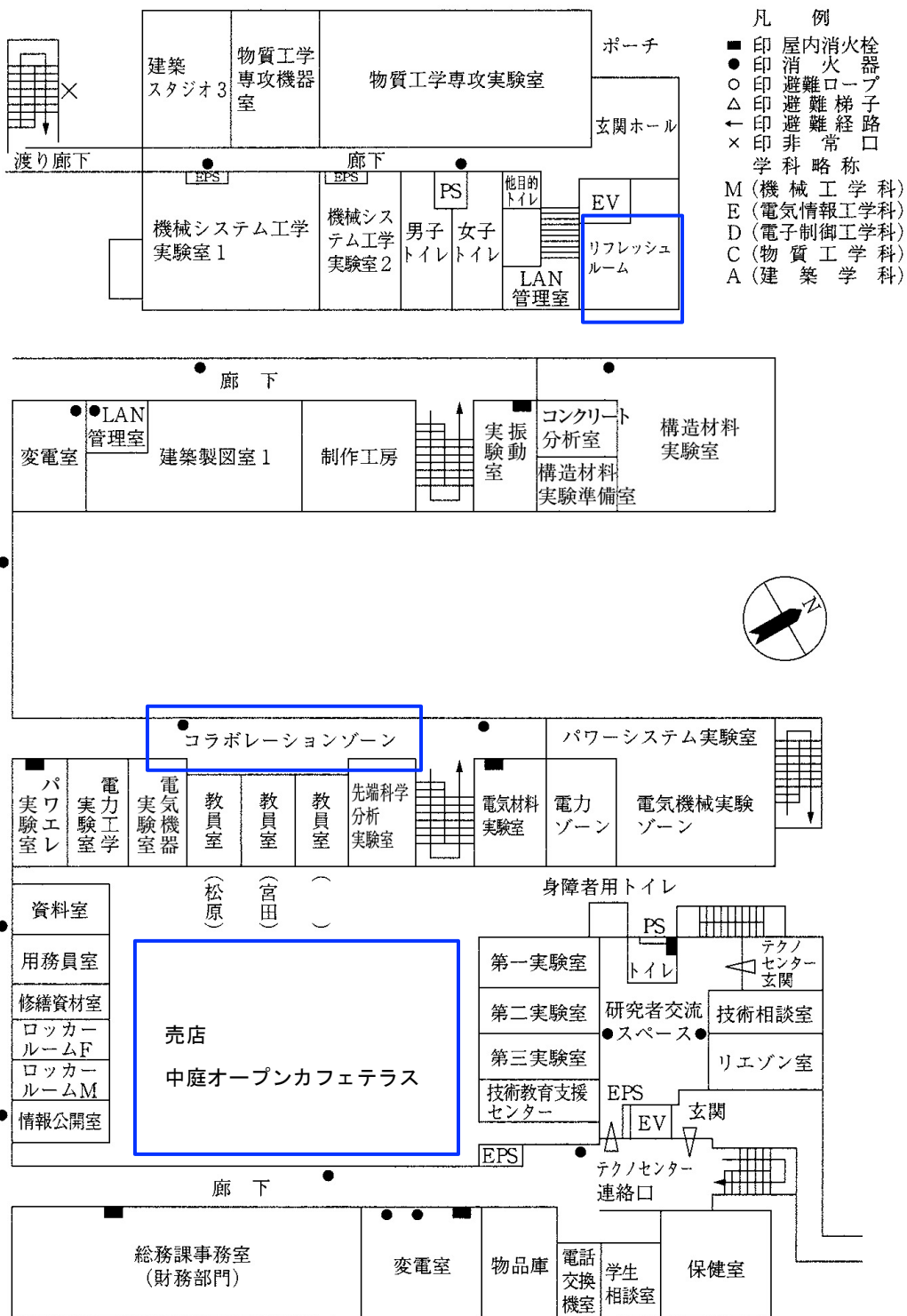
校舎1階平面図



赤枠 各学科アトリエ部分、青枠 コラボレーションゾーン・リフレッシュルーム
(出典 総務課施設係資料)

資料7-1-②-7

各施設の配置 校舎1階北側

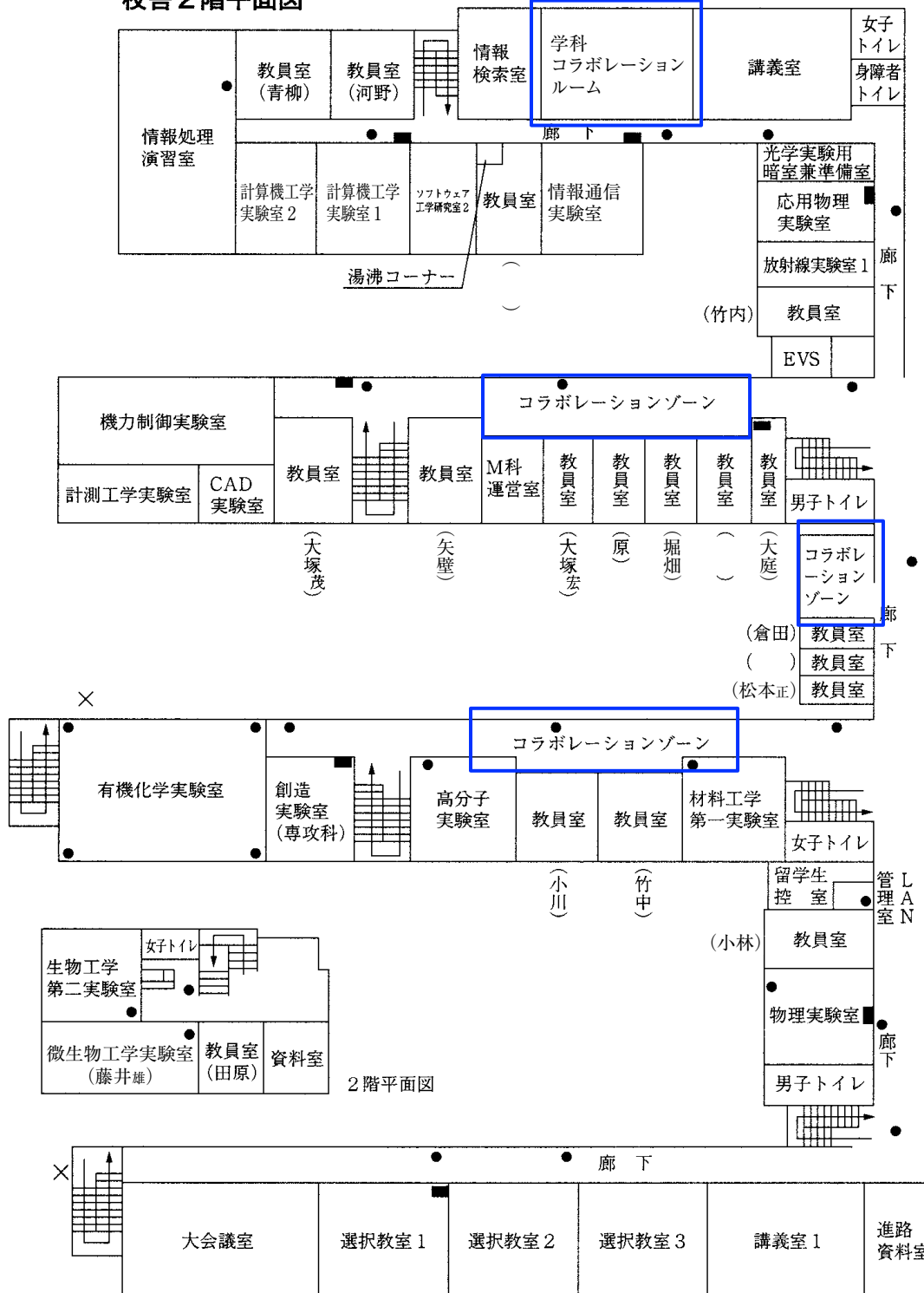


(出典 総務課施設係資料)

資料 7-1-②-7

各施設の配置 校舎 2階南側

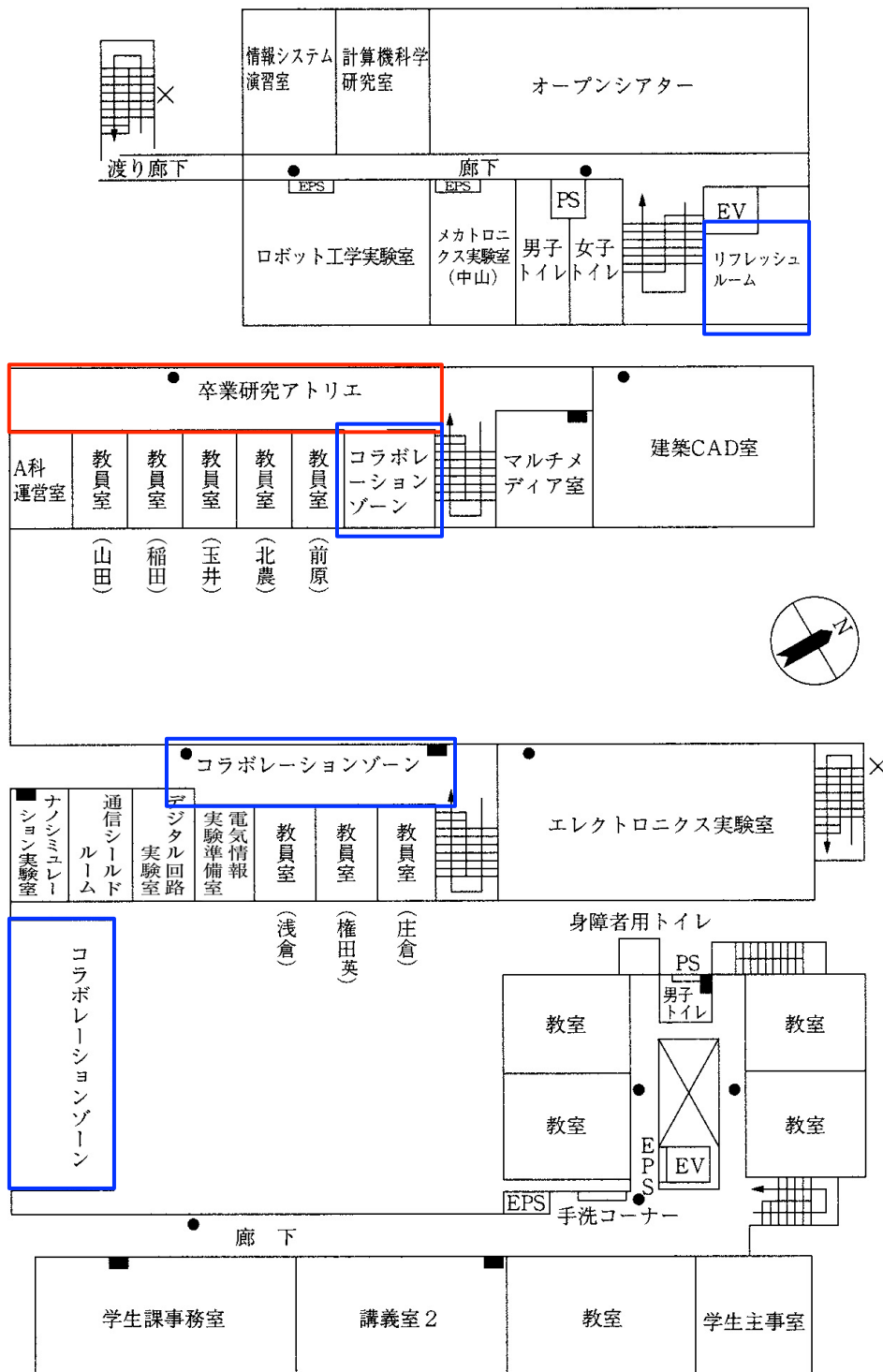
校舎 2階平面図



(出典 総務課施設係資料)

資料7-1-②-7

各施設の配置 校舎2階北側

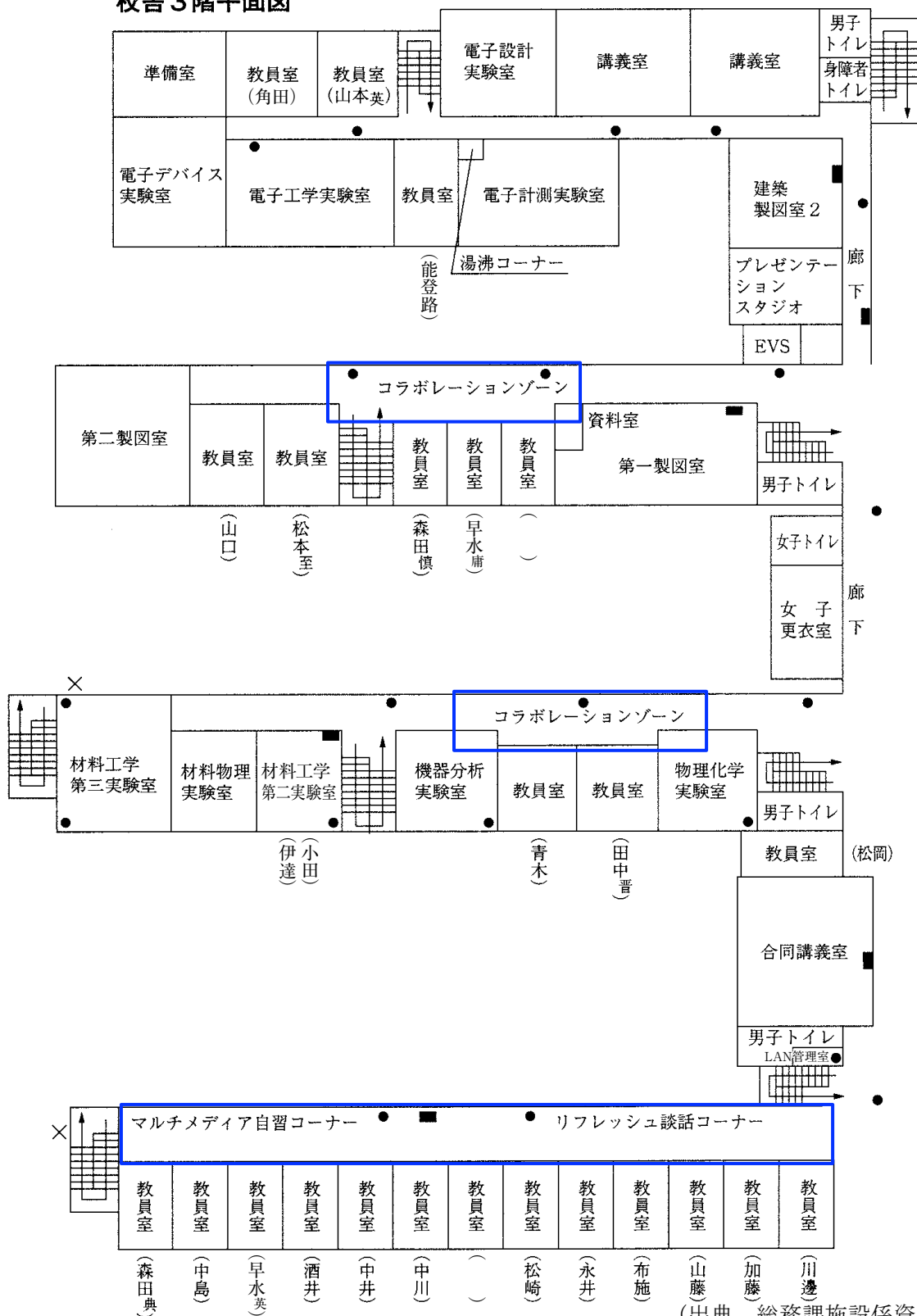


(出典 総務課施設係資料)

資料7-1-②-7

各施設の配置 校舎3階南側

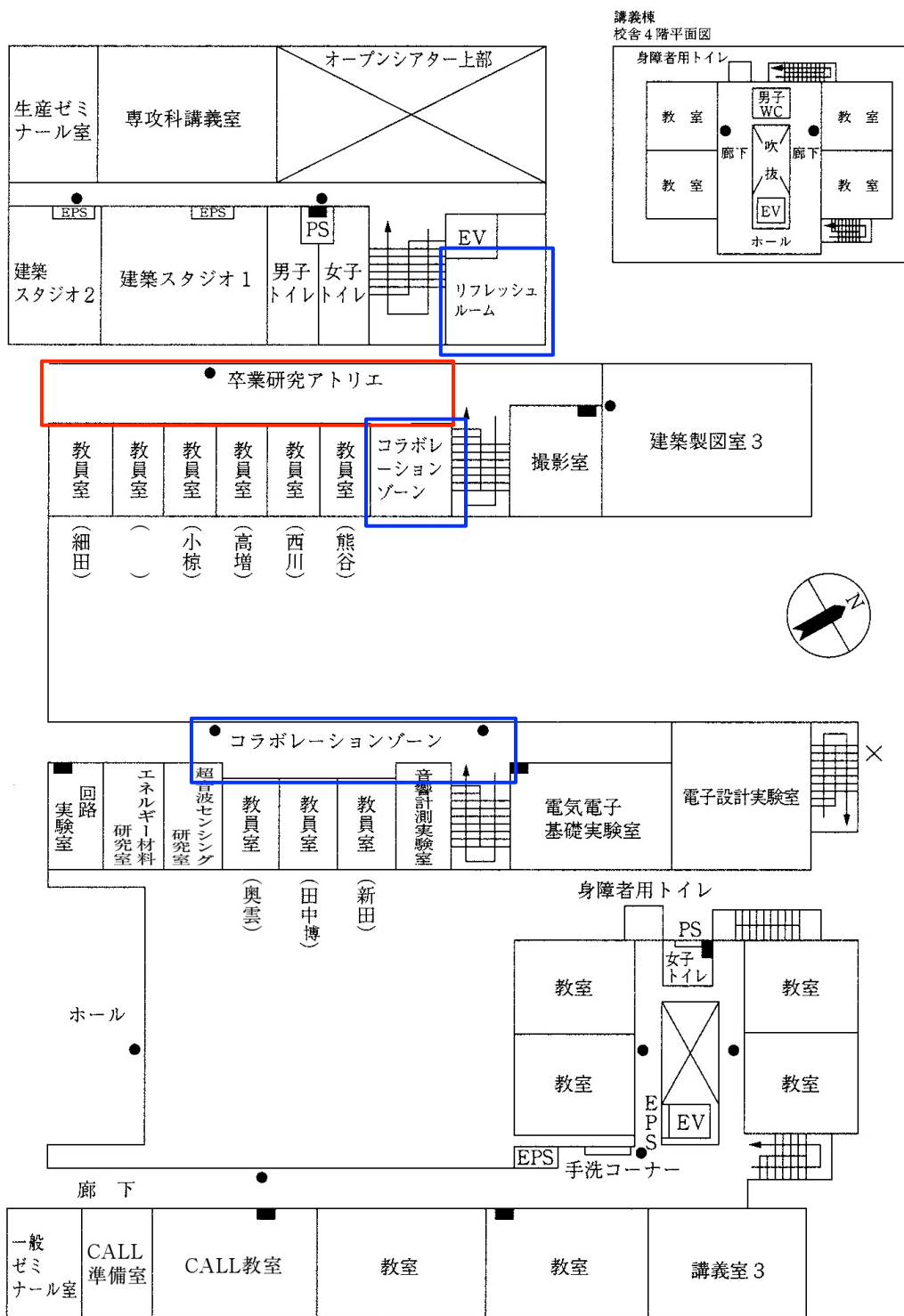
校舎3階平面図



(出典 総務課施設係資料)

資料7-1-②-7

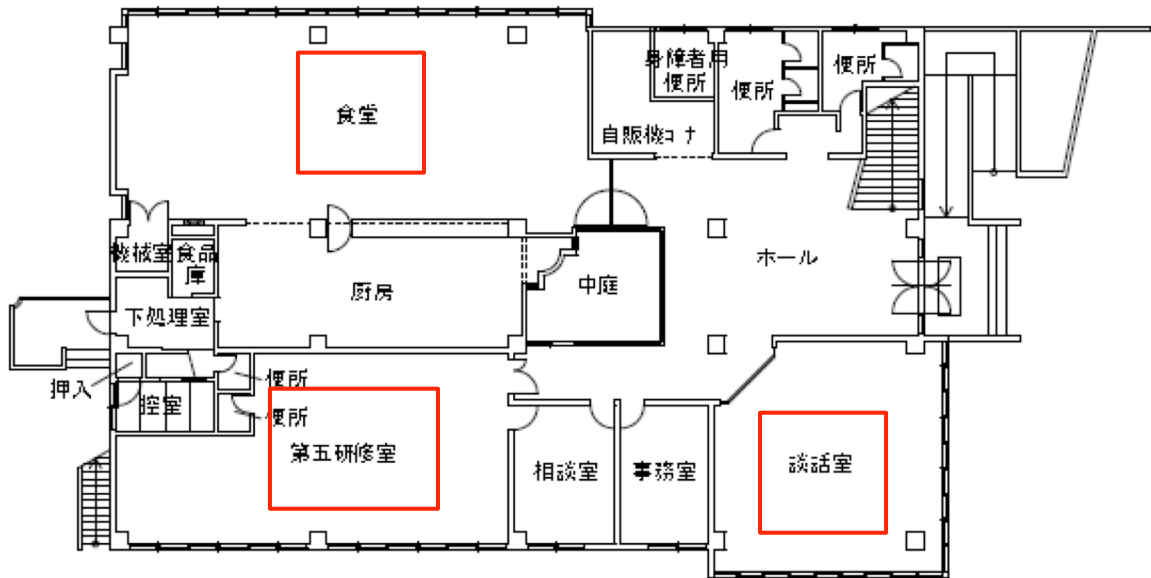
各施設の配置 校舎3階北側



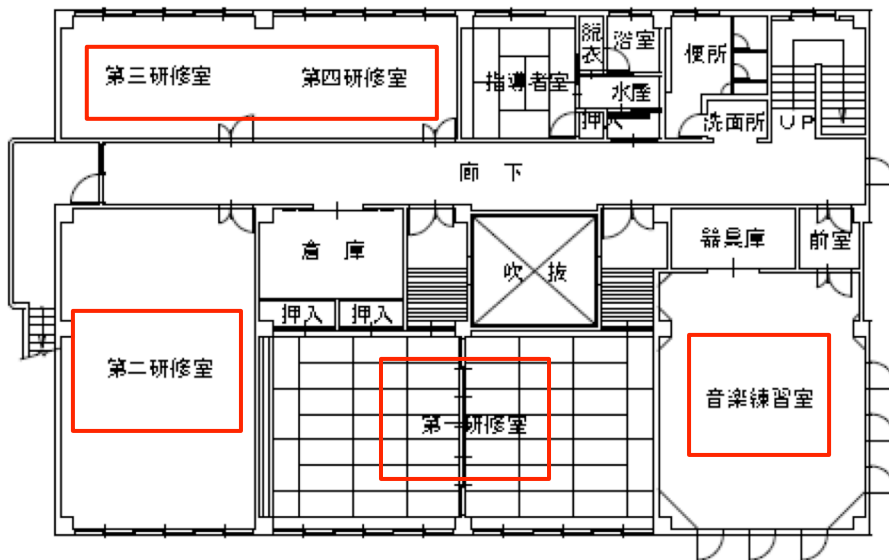
(出典 総務課施設係資料)

資料7-1-②-8

各施設の配置 白砂会館



1階平面図



2階平面図

(出典 総務課施設係資料)

資料7-1-②-9

平成26年4月2日
点検・評価委員会資料

平成25年度実施 企画部アンケートについて

企画担当校長補佐・企画部

企画部は例年に引き続き平成26年2月に「教職員・非常勤講師、修了・卒業予定者の達成度および各学年に対する教育目的等の周知に関するアンケート」、「学習・生活環境に関するアンケート」を実施した。

平成25年度は、本科学生には学年末補講期間に端末室でアンケート回答を実施し、教職員及び専攻科生には学内および学外のインターネット環境から回答できる仕組みで実施した。さらに、非常勤講師には紙面配布によって実施した。これらの結果、高いアンケート回答率を得ることができた。

教育目的等の周知状況は、教職員・専攻科生・本科1年生から4年生では例年と大差ないが、本科5年生の周知状況は若干低下した。なお、非常勤講師については教職員の結果をやや下回る程度の周知状況であった。特に本科1年生から4年生への周知状況では、例年同様5割～7割程度であったため、今後もより一層の周知努力が必要である。

以下に、平成25年度の回答率、平成24年度アンケート結果との比較、学習・生活環境への改善要望を説明する。

平成25年度 企画部アンケート回答率

	対象者数	回答数	回答率
教職員 本校の教育目的等の周知に関するアンケート	145	137	94.5%
非常勤講師 本校の教育目的等の周知に関するアンケート		42	
専攻科2年生 本校の教育目的等の周知と達成度に関するアンケート	26	26	100.0%
本科5年生 本校の教育目的等の周知と達成度に関するアンケート	186	163	87.6%
専攻科1年生 本校の教育目的等の周知に関するアンケート	26	26	100.0%
本科1年から4年生 本校の教育目的等の周知に関するアンケート	823	762	92.6%
本科・専攻科の全学生 米子高専の学習・生活環境に関するアンケート	1060	976	92.1%

2. 本校の学習・生活環境に関するアンケート結果（全学生、数字は24年→25年）

- ① 教室 使いやすい 48% → 使いやすい 26% + まあまあ使いやすい 60%
・主な意見：冷暖房、D棟教室の冷暖房、教室の狭さ、ロッカーが小さい、椅子がガタガタする
- ② 実験実習室 使いやすい 59% → 使いやすい 33% + まあまあ使いやすい 63%
・主な意見：各学科の機器や実験器具の古さ、製図室など大教室の冷暖房
- ③ 情報処理センターの端末室及び端末 **【H25年度は改修中であったため、評価せず】**
・主な意見：PCの起動と動作が遅い、インターネット規制の厳しさ、マウスパッドが必要、時間延長（仮設が原則17時までのため）
- ④ 図書館 **【H25年度は改修中であったため、評価せず】**
・主な意見：新しい専門書が不足、小説が不足、開館時間延長（仮設が原則17時までのため）、早期の完成
- ⑤ 運動施設 使いやすい 33% + まあまあ使いやすい 60%（平成25年度に設問新設）
・主な意見：第一体育館の床板の更新、グラウンドの除草・砂の改良・整備、体育館の照明器具更新
- ⑥ 福利厚生施設
・高砂会館 主な意見：風呂場の老朽化
・白砂会館 主な意見：ロビーの照明器具更新、洋式トイレ整備、製氷機の増設、防音性能の不足
・食堂 主な意見：狭い
・売店 主な意見：店内の臭い改善、椅子などが少ない

(出典 平成26年4月2日 点検・評価委員会資料)

資料7-1-③-1

学習支援に関するニーズの把握（授業評価アンケートおよびWebページ開示例）

アンケート結果表示

電気情報工学科 学年 デジタル回路 後期

アンケート結果

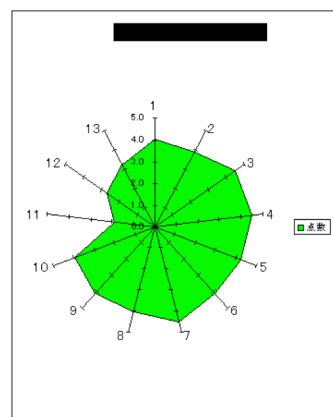
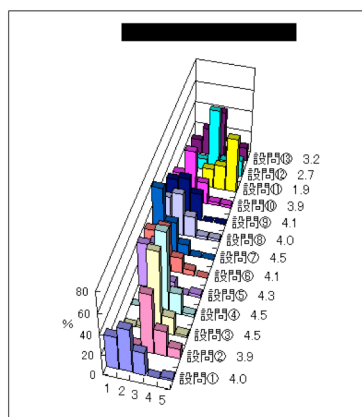
2.1 教員別 (1) 科目毎 (抽出条件: 教員 AND 科目 AND 学年 AND 学科)

授業コード	学科名	学年	科目名	担当教官	専門・一般	形式	実施者数
E0460					専門	形式1	40

設問	回答数					計
	1	2	3	4	5	
1	13	17	9	0	1	40
2	1	2	23	10	4	40
3	0	1	31	7	1	40
4	0	0	30	8	1	39
5	17	18	4	0	1	40
6	15	17	6	2	0	40
7	24	12	4	0	0	40
8	14	16	8	1	1	40
9	14	15	10	0	0	39
10	10	19	8	1	1	39
11	2	1	7	9	20	39
12	1	4	23	5	6	39
13	5	10	17	2	5	39

割合(%)					点状
1	2	3	4	5	
32.5	42.5	22.5	0.0	2.5	40
2.5	5.0	57.5	25.0	10.0	39
0.0	2.5	77.5	17.5	2.5	45
0.0	0.0	76.9	20.5	2.6	45
42.5	45.0	10.0	0.0	2.5	43
37.5	42.5	15.0	5.0	0.0	41
60.0	30.0	10.0	0.0	0.0	45
35.0	40.0	20.0	2.5	2.5	40
35.9	38.5	25.6	0.0	0.0	41
25.6	48.7	20.5	2.6	2.6	39
5.1	2.6	17.9	23.1	51.3	1.9
2.6	10.3	59.0	12.8	15.4	2.7
12.8	25.6	43.6	5.1	12.8	3.2

小計1 379



アンケート設問

コメント

昨年度までと比べて、DTL や TTL のハードウェアの部分が理解が進まなかったように思います。他科目 電子デバイスなどの進み具合とかみ合っていないかもしれませんので、来年度は講義の順番を変更して対応します。
本年度より、演習に代わって小テストを導入したせいもあるかも知れませんが、質問してくれる学生が少ないです。積極的な姿勢を期待します。

(出典 校内Webページ 授業評価アンケート結果)

資料7-1-③-2

学習支援に関するニーズの把握（クラス担任による個別面談）

授業改善のアンケート 2014.1.29

1) 授業全般について

① 授業の内容について該当するもの1つにレ印

- よく理解できる だいたい理解できる 理解できない教科2, 3ある
理解できない教科が半分以上ある 難しく理解できない

② 授業を受ける態度について該当するもの1つにレ印

- 理解しようと集中している すぐに理解はできないがノートはまじめにとっている
集中できないし、ノートもあまりとらない 居眠りか、他のことをしている

③ あなたの成績は、該当するもの1つにレ印

- 席次で上位 席次で中位 席次で下位

④ 授業について要望があれば以下に記入

休憩がある教科もあるがない教科もあるので5分間の休憩がほしい

2) 試験について

① 試験内容の難易度は、該当するもの1つにレ印

- 平易すぎる 適当である やや難しい 難しすぎる

② 再試験はされているか、該当するもの1つにレ印

- ほとんどの教科で実施されている 半分くらいの教科で実施されている
あまり実施されていない

3) 補習について

① 補習はされているか、該当するもの1つにレ印

- ほとんどの教科で実施されている 半分くらいの教科で実施されている
あまり実施されていない

② 補習は放課後に実施することになるが参加できるか

- 積極的に参加したい クラブ活動より優先したい 参加できない

③ 補習について要望があれば以下に記入

数学の補習がほしいです。

④ 試験前の専攻科生による質問教室について要望意見があれば以下に記入

4) 追認試験の期間、方法、合格判定等について要望意見があれば以下に記入

(出典 個別面談記録簿より抜粋)

学生指導記録

資料7-1-③-3

学習支援に関するニーズの把握
(担任による保護者・学生からの要望聴取)

月日	摘 用
4/8	2A 入工工場のための寮から家へ帰る。 → 4/11(月)午後から復旧した。
4/12	2A 2A 3A 4A 許可(土日9日中) → 成績が落ちたので修学約束
4/21	4/21(金) 4/21(金) 4/21(金)
4/25	→ 休校(女)
4/26	→ -
4/27	米子+7/11ニク 急性心膜炎(疑) 1週間自宅療養。 tel → 一般科と建学教員にメール。 他の原因が原因? 薬は与えず、安静が。 つぎは、明日、もう一度11-7月-17で休校 → 17日午後から始まる。 単位化科目、大学病院へ。 5/13.00 用寮。 指導tel 教員。
4/28	5/6 卓球大会の取組が予定
5/10	13日全席に予定で休校予定 → 5/16 症状は軽くなった。おはよう。
5/12	+ 休校
5/12	7/10(木曜1.2限) 休校5. 高増先生 → 5/16 休校
5/13	5/16 用寮 2A 3A 4A 5A 6A 7A 8A 9A 10A 11A 12A
5/13	欠席 → 女教指導にtel。留守電にメールした。 PM8:00 自宅にtel → 母親は13日(金)の休校を知ることが。 7/10-5時まで休校という現状を伝えた。1/14に西記... → 5/16 7/10-13日 提出予定の...
5/23	休校
5/26	5/30 特別欠席 陸上...
=	= 硬テニス
=	= 水泳
6/1	6/1(土) 教務部にて...
6/6	→ 母親より、7月-9日、休校の連絡。
6/17	家へtel 季節の変わり目に体調(アトピー)が少し悪化...
6/18	前中から旧日(国語)永井先生 → 履修の... 欠席 → 再試?
6/14	日本学生支援機構奨学生 第一種 H23.4~H27.3
6/23	教務大臣先生。小浪先生 7/25~7/31. 反抗的召学生 → H23.4...
6/27	体調不良のため欠席 母親のtel
6/29	2A 球技大会1日-優賞
6/29	朝 母親のtel。休校の理由(2日)の変更。免状の取扱いが... → 平日の復習の為に休校した。
7/19	祝日 7/26~28 特別欠席 2A 田中先生
7/20	7/31 7/26 権田英先生 テニス
7/25	(女) 藤井先生。道徳化学工 合格
7/26	= 休校 テニス前中に1/14に練習
7/28	7/28 情報センターで休校 → 翌日学生母に連絡
7/29	7/29 自転車事故で休校 → 高増先生報告済
8/2	玉井先生 構造
9/26	10/2 入寮
=	9/9~10/3 2E 3A 病院へ。診断あり
=	11/4-5 高増先生+休校 1/14に練習 → 大会へ
10/5	数学II(甲)の1/14に練習 決定 前日(11/4) → 藤井先生
10/14	2A 3年修了後に私立、甲南大、関西外語大?
10/26	2/14(土) 休校の理由(2日)の変更。免状の取扱いが...
11/2	11/7(日) 7/10-13日 高増先生 → 休講
11/3	

(出典 教務手帳、
学生指導記録抜粋)

資料7-1-③-4

学習支援に関するニーズの把握（担任による保護者・学生からの要望聴取）

平成25年6月25日

保護者各位

米子工業高等専門学校長
齊藤正美
(公印省略)

保護者懇談会について（案内）

平素より本校の教育については御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび保護者の方々との連絡をさらに緊密にし、教育効果の一層の向上を期すため、下記のとおり保護者懇談会を開催いたします。御多忙中とは存じますが万障繰り合わせの上、御出席をいただきますよう御案内申し上げます。

なお、御都合により出席が困難な方は、事前に学級担任又は教務・キャリア支援係まで御連絡ください。

記

- | | | | |
|---|------|---------------------------------------|------------|
| 1 | 日時 | 平成25年7月12日（金） | 9:00～17:00 |
| | | 平成25年7月13日（土） | 9:00～17:00 |
| 2 | 場所 | 米子工業高等専門学校 | |
| 3 | 添付書類 | 平成25年度保護者懇談会予定表
保護者懇談会会場駐車場図・懇談場所図 | |

付記 1 日時、開催場所の詳細は、別添の平成25年度保護者懇談会予定表を御参照ください。

なお、懇談時間の変更については学級担任と事前に御相談願います。

- 2 前期中間試験学業成績通知票を学級担任からお渡しいたします。

懇談会当日は、学生寮懇談会、文化系クラブ・同好会による文化発表会を行いますので、ぜひ御参加ください。

学生寮懇談会の会場等につきましては、寮生保護者の方に「高砂・白鳥トピックス」を7月上旬に送付いたしますので、そちらを御覧ください。

なお、車で来校される方は、別紙「保護者懇談会会場駐車場図・懇談場所図」に記載されている駐車場を御利用ください。

本件担当

学生課教務・キャリア支援係 城間

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448

TEL: 0859-24-5022 FAX: 0859-24-5029

E-mail: kyoumu@yonago-k.ac.jp

(出典 平成25年度保護者懇談会案内)

資料7-1-③-5

クラス内の友人関係や本人の勉学意欲などの把握(QUアンケートの実施)

ハイパーQUアンケート実施について

平成24年度

○経緯：昨年度から継続して1～3年で実施。また、1年間の中でも、年度当初にクラスの状態を知り、その後の指導に活かせるよう、また、その変化を測れるように、2回実施することになった。

○実施クラス：1～3年全クラス（1年：7月18日，2年：4月27日，3年：5月10日）

※2回目を秋頃実施予定

○結果：実施後約1ヶ月で受領し，担任へ。FD研修講師へも送付し，研修時に指導・助言。

○予算：学生相談室実施経費（高専改革推進経費）（アンケート624名 316,500円）実施済分
（FD研修会講師謝金・旅費 158,520円）実施済分
（アンケート 316,500円）予定分
（FD研修会講師謝金・旅費 78,760円）予定分

○FD研修会「Hyper-QUアンケートの分析と利活用方法について」（2，3年クラス担任対象）

日時：平成24年7月10日14：00～17：00

講師：都留文科大学地域交流研究センター地域教育相談室相談員 藤原 和政 氏
名城大学非常勤講師 川俣 理恵 氏

（1年クラス担任対象研修会は9月18日実施予定）

（出典 ハイパーQUアンケート実施資料、学生課教務・キャリア支援係資料）

資料7-1-③-6

学習支援に関するニーズの把握（学生寮における学習支援）

平成26年度 前期高砂寮寮生総会

平成26年4月16日(水)

【次第】

- 一、開会の辞
- 一、高砂寮寮長挨拶
- 一、議長選出並びに承認
- 一、各寮長・副寮長所信表明
- 一、各委員長所信表明並びに委員紹介
- 一、高砂寮役員研修会報告
- 一、平成25年度後期決算報告並びに承認 → 説明 → 質疑 → 承認
- 一、平成26年度前期予算案承認
- 一、平成26年度前期行事案承認
- 一、議長解任
- 一、閉会の辞
- 一、連絡事項

5. 勉学支援について

<決定事項>

現在、寮生の留年対策として定期試験前に勉学支援を行っている。これについては、1年生はこれまで通り試験前に2回行うこととする。また、2年生については前期中間試験前に実施し様子を見ることとする。

(出典 平成26年度 男子寮寮生総会資料、学生課寮務係資料)

資料7-1-③-7

学生のニーズの把握、周知の方法

資格名称	関係省庁団体	申込期限	試験期日	試験内容(科目、実技)	合格難易度	相談可の教員	関連授業講習会	備考
実用英語検定(1級～5級)	日本英語検定協会	試験の1月前	年3回 (6, 10, 2月)	(準2級、2級)高校1年～大卒程度	級によって異なる	中井大造	講習会なし	受験料 ・準2級3600円 ・2級4100円 二次試験(面接)あり 本校の単位認定制度あり 学生便覧 p95 参照
工業英語検定(1級～4級)	日本工業英語協会	試験の1月前	年3回 (5, 11, 2月)	高校1年～高専卒程度	標準。2級難	森田典幸	講習会なし	受験料 ・4級2000円 ・3級4600円 本校の単位認定制度あり 学生便覧 p95 参照
TOEIC	国際ビジネスコミュニケーション協会	試験の2月前 (本校受験は定められた締め切り日)	1年に8回実施 (本校受験は年に2～3回で不定期)	高校3年～大卒程度	点数によるもので、合格、不合格はない	中井大造	講習会なし	(本会場)受験料6615円 (本校受験)4120円 本校の単位認定制度あり 学生便覧 p95 参照
TOEFL	ETS(アメリカ)	試験の2月前	1年に50回	大卒程度(留学時必要)	やや難	個人申込	講習会なし	受験料2～3万円
実用数学技能検定(1級～12級)	財団法人日本数学検定協会	試験の約40日前 (申込方法により異なる)	年3回	1次:計算技能検定 2次:数理技能検定(同日に実施) 準2級 高校1年程度 2級 高校2年程度 準1級 高校3年程度 1級 大学程度・一般	級によって異なる	数学教員	講習会なし	受験料～5000円 (級によって異なる) 個人申込

(出典 各学科からの推奨資格等のガイドブック)

資料7-1-③-8
学生のTOEIC受験料の補助

平成24年 7月 4日

各 位

校 長

教員会議の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催するので通知します。

記

1 日 時 平成24年7月4日（水）15：45～

2 場 所 大 会 議 室

3 議 題

- (1) 学生への情報発信のための「一斉連絡システム」の運用について・・・(資料1)
- (2) TOEICについて（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会への賛助会員の入会）
- (3) 学生の異動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料2)
- (4) 学生事故について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料3)
- (5) 各種大会成績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料4)
- (6) 退寮生について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料5)
- (7) 6月の寮行事報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料5)
- (8) 7月の寮行事予定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料5)
- (9) 専攻科学生の異動（休学の延長）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料6)
- (10) 平成24年度の学位試験について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料6)
- (11) 専攻科2年生の前期成績入力期間について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料6)
- (12) 企業技術者等活用プログラム「地元企業と連携した地域ニーズ対応共同教育」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料7)
- (13) 教職員の給与の臨時減額支給措置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(資料8)
- (14) その他

(出典 平成24年7月14日 教員会議資料)

資料 7-1-③-9

資格試験のための科目開設 (代表例)

対象学科	建築学科	担当教員	前期:玉井孝幸・北農幸生・前原勝樹・景山肇・上田輝美, 後期:玉井孝幸・熊谷昌彦・金澤雄記		
授業科目名	創造実験・演習	科目コード			
学年	5 学年	開講学期	通年	単位数	3 単位
区分	必履修	授業の形態	実験	単位種類	履修
授業概要	与えられた設計演習テーマや実験テーマに対して、これまで学習した基礎をもとに、設計についての創造的で実践的な能力を身につけるとともに、建築環境、建築構造に関する実験・演習を通じて、環境・構造と建築の関係の理解を深める。テーマは「環境実験・演習」「構造実験・演習」「 二級建築士製図試験の設計演習 」「施工図の演習」である。				
関連する本校の学習教育目標	(B1)	関連する JABEE 学習教育目標	(d1)		
到達目標	1) 環境要素の測定とその分析ができること。 2) 環境に配慮した建築について考察できること。 3) 建築構造材料の強度について理解すること。 4) 二級建築士の製図試験に必要な知識と作図技術が理解できること。 5) 施工図の作成に必要な知識について理解すること。 2級建築士の製図試験レベルの設計課題ができること(実践的) 構造計画を重視した空間構造物の創造的なデザインができること 環境工学に関する実験を通じ環境と建築の関係を理解できる				
授業の進め方とアドバイス	環境実験では、学校を対象に実地で環境要素を実測し、夏涼しい学校環境を考える演習を実施する。構造実験では、コンクリートの調合・破壊の一連の実験を実施する。二級建築士製図試験、施工図作成の課題を通じて実践的な設計演習を行う。				
授業内容スケジュール	回数		授業内容		
	前期(第1週～15週) 3 班に分け、以下の実験実習を行う。 ■コンクリート ・調合設計 第18週:木造住宅の矩形図の演習 ・使用骨材の準備 ・コンクリートの練混ぜ ・非破壊検査による強度の推定 ・材齢 28 日の圧縮強度 ・コンクリートの中酸化試験 ■金属 ・鉄筋の焼入れ、焼きなまし試験体準備 ・鉄筋の引張試験 ・溶接部の外観検査 ■構造 ・筋交いおよび方杖入り骨組の力学実験 ・コンクリート中の鉄筋探査 ■測量 ・レベル測量 ・面積測量		後期 第16週:二級建築士製図課題説明、二級建築士製図試験の傾向と対策 第17週:木造住宅の配置図・平面図の演習 第19週:木造住宅の立面図・小屋伏図の演習 第20週:二級建築士製図のエスキスの進め方 第21週:二級建築士製図のエスキス演習1 第22週:二級建築士製図の模擬演習1 第23週:二級建築士製図の模擬演習2 第24週:二級建築士製図課題・講評 第25週:施工図とは 第26～30週:図面を読み取り、コンクリートの積算 ■環境 ・色彩測定 ・照度分布測定 ・暗騒音の測定 ・温熱環境測定		
関連教科	建築計画、構造計画、建築生産、建築環境				
基礎知識	すべての教科				
成績の評価方法	総合評価割合		実験レポート 50%、二級建築士製図試験の設計演習 30%、積算演習 20%		
	定期試験		%		
	レポート		50%		
	演習・小テスト		50%		
備考	オフィスアワーは授業日の放課後とする。(玉井、北農、前原)				

(出典 校外向けWebページ シラバス)

資料7-1-③-10

留学や国際交流の実績

鳥取県・バーモント州青少年交流事業に参加した学生が帰国報告を行いました

部署 : 教務・キャリア支援係

公開日時 : '12/11/08

鳥取県国際交流財団が主催する「平成24年度鳥取県・バーモント州青少年交流事業」に、本校から電気情報工学科2年の小林周平さん、物質工学科2年の綿谷日菜子さんが選考され、このたび齊藤正美校長へ帰国報告を行いました。

2人は県内の高校生13名とともに、10月18日～29日の日程で鳥取県の友好交流先である米国バーモント州を訪問。今年度の交流事業が食糧をテーマとしていることから、現地の果樹園や酪農場、自然食協同組合など様々な施設の見学や、バーモント州政府において農業庁の説明を受けるなど米国の農業について学習しました。また、地元の高校生たちと一緒に歴史の授業を受けたり、滞在先のホストファミリーたちと活発に交流したりしました。

帰国報告で綿谷さんは「バーモントのスーパーでは野菜や果物のほとんどが地元産で、地産地消が行われていた。アメリカは人も物も大きく日本との違いを強く感じた」と述べ、事業目的でもあった文化の違いを肌で感じたようです。齊藤校長の「これからも努力して英語の勉強を続け、他の人に刺激を与えられるような学生になって欲しい」との言葉に、小林さんは「もっと多くの人がこのような交流事業に参加するよう、自分が今回の交流で学んだこと、興味深かったことを他の人たちに伝えていきたい」と次に繋げる意欲をみせました。

今回の交流を通して2人は英語学習への意欲を改めて高めたようでした。



(出典 校外向けWebページ)

資料7-1-③-11
留学や国際交流の実績

◎鳥取県・バーモント州青少年交流事業


年度	学年	クラス	氏名	日程	場所
H22	3	A	■	平成23年3月18～29日	アメリカ合衆国バーモント州
H22	3	A	■	平成23年3月18～29日	アメリカ合衆国バーモント州
H23	2	E	■	平成24年3月15～26日	アメリカ合衆国バーモント州
H24	2	E	■	平成24年10月18～29日	アメリカ合衆国バーモント州
H24	2	C	■	平成24年10月18～29日	アメリカ合衆国バーモント州

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料7-1-④-1

留学生の手引

外国人留学生
指導教員が「イッ」
留学生の手引
チューターのために



YONAGO NATIONAL COLLEGE of TECHNOLOGY

留学生指導教員 役割詳細

項目	担当部署・関係	具体的内容	備考
1.来校前			
指導教員の選任	各学科	手引随付指導教員が「イッ」(留学生の手引)、「チューターのための」等を学生課より入手する	
来日スケジュールの確認	教務・キャリア支援係	国駐留学生は日本留学学校から在留日種の諸語訳(1月下旬前)、他は大抵課より連絡(3月中旬前)、出迎えの準備が必要	
チューター学生の選任	担任・学科	チューター学生へ手引きを渡し、説明 教務・キャリア支援係へ学生氏名を連絡	チューター学生へ別途ガイダンスを行う
教科書の確認	各教科担当	1,2年次に購入・使用している教科書で購入時に必要なものがないか確認、場合によっては教科書販売時に購入させる	
印章の制作	教務・キャリア支援係	事前にあらかじめ業者に依頼し、受け取っておく	来校時に本人に渡し、料金を徴収する
寮の部屋の確認	寮務係	部屋の確認、場合によっては清掃依頼	
食事の確認	寮務係	日本食がOKの場合、事前に購入しておけば、特別期間中の食事が利用可能、また、来校後購入でも次の日の昼食くらいからは大丈夫	
必要経費の確認	教務・寮務・学生・後援会	4月に必要な経費および年間を渡し、必要な経費を事前の一覧としておく	教務に一覧表作成を依頼
2.来校時当日～翌日			
出迎え		複数の留学生が同時に到着する場合には、代表の教員名でOK、校用車を使用する場合は予約手続をする	米子空港・駅他
寮への案内	寮務係	寮務係で寮室の鍵を受け取り、荷物を置かせる。別棟で荷物を送っている場合には到着を確認、土日の場合は前もって鍵を預かっておく	できるだけ土日の来校日は避けてもらう
学校内の案内	各部署	校長、学生課など必要場所へ挨拶しながら校内を案内	
寮内の案内	寮務係・寮務部	寮内の設備(シャワー、トイレ、補給室など)やルールを説明してもらい、また食事の方法等についても同様、ついでに入居届と誓約書を出させる。用語は寮務係	
日用品・布団等の買い物		とあえず必要な日用品や布団を買いに行く	布団は3〜5万円くらい
住居地の(変更)届出	市役所	市役所にて居住地域変更等の申請手続をする	
国民健康保険への加入	市役所	市役所にて国民健康保険への加入手続もしくは変更手続をする。保険証はその場で発行、新規加入は約1.8万円必要	
国民年金への加入	市役所	20歳を超えていれば市役所にて国民年金の加入手続をする。加入時には学生納付特別の申請を行う	
銀行口座の開設	銀行	留学金等の振込みに必要な場合、またIC等や不必要な現金を預け入れるため開設する。国駐留学生の場合既に東京で口座を持っていても、地元銀行が良い	通帳ができた財務係にまわって行き、口座振替の手続を行う
郵便貯金口座の開説	郵便局	寮費・学生会費・後援会費等の口座振替のために必要、口座番号を財務係へ連絡する	どちらか一方でもよい
学校近くの案内	銀行・スーパー・病院等を案内		ATMの使用法
留学生ガイダンス		留学生の手引き、諸経費一覧、時間割(あれば)を示しながら、ガイダンスを行う。特に当面の日程について	

(出典 留学生の手引)

資料7-1-④-2

チュータの人数 (5年分)

	H21	H22	H23	H24	H25
機械工学科	2	2	2	2	3
電気情報工学科	1	0	2	2	0
電子制御工学科	1	1	0	0	0
物質工学科	0	2	5	4	3
建築学科	0	0	0	0	4
合計	4	5	9	8	10

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

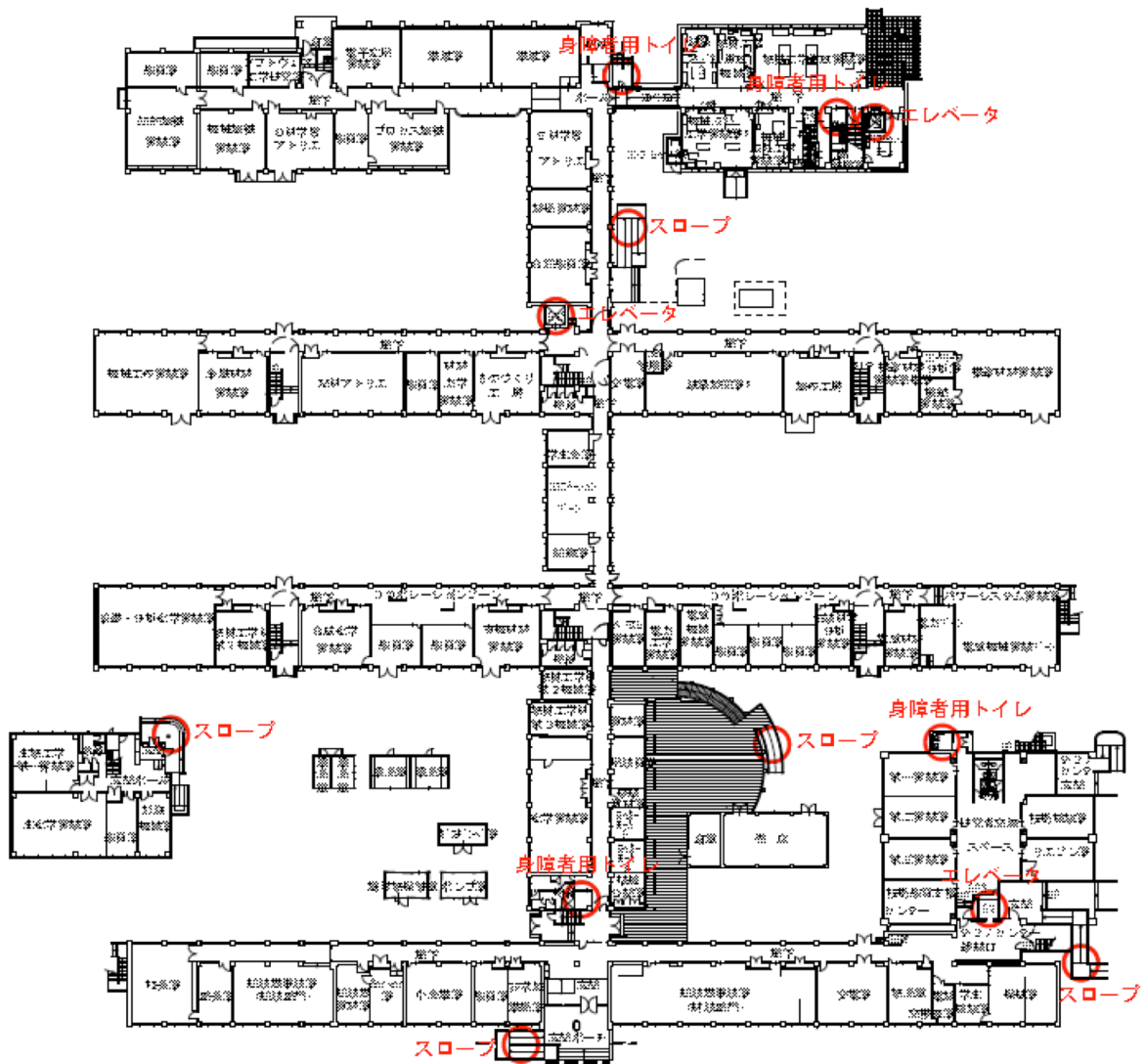
資料 7-1-④-3

留学生特別カリキュラム（日本語能力の強化）

対象学科	留学生	担当教員	非常勤講師 永田俊樹		
授業科目名	日本語教育 I(国語 III)	科目コード			
学年	3 学年	開講学期	通年	単位数	2 単位
区分	必修修	授業の形態		単位種類	
授業概要	日本初級コースを終了した留学生を対象とし、さらに日本語能力を発展させることを目指す。ある程度の読解はできるが、話す能力はまだ低い学生が多いので、できる限り発言の機会を与え日本語に慣れてもらう。従って、教授法は日本語を日本語で教えるダイレクトメソッドを採用する。				
関連する本校の学習教育目標	A, E	関連する JABEE 学習教育目標	(a), (f)		
到達目標	1) 日本語能力検定試験2級の合格を目指すこと 2) 日本語能力試験1級を受験する実力を培うこと 3) ニュースや新聞の日本語が理解出来ること 4) 日本人と意見交換ができるだけの日本語能力をつけること				
授業の進め方とアドバイス	毎回問題集を中心にいろいろな日本語を扱い、問題演習と共に、高等で自分の意見を効果的かつ論理的に述べる練習をする。英語での解説はできるだけ少なくし、原則として日本語を使って教授する。				
授業内容 スケジュール	回数		授業内容		
	第 1週:漢字 読み方 1 第 2週:漢字 読み方 2 第 3週:漢字 読み方 3 第 4週:漢字 書き方 1 第 5週:漢字 書き方 2 第 6週:漢字 書き方 3 第 7週:語彙 適語の選択 1 第 8週:語彙 適語の選択 2 第 9週:前期中間試験 第10週:語彙 単語の意味 1 第11週:語彙 単語の意味 2 第12週:語彙 単語の意味 3 第13週:読解 同義文 1 第14週:読解 同義文 2 第15週:読解 同義文 3 前期末試験		第16週:読解 要旨の把握 1 第17週:読解 要旨の把握 2 第18週:読解 要旨の把握 3 第19週:読解 長文の総合問題 1 第20週:読解 長文の総合問題 2 第21週:読解 長文の総合問題 3 第22週:読解 長文の総合問題 4 第23週:読解 後期中間試験 第24週:文法 穴埋め問題 1 第25週:文法 穴埋め問題 2 第26週:文法 文章完成問題 1 第27週:文法 文章完成問題 2 第28週:総合演習 1 第29週:総合演習 2 第30週:総合演習 3 学年末試験		
教科書	毎回プリントを配付				
参考書	日本語能力試験2級、1級問題集（アルク）				
関連教科	英語 日本語 社会				
基礎知識	日本語基礎文法				
成績の評価方法	総合評価割合		その他は授業参加の積極性、態度、発言、理解度などを総合的に評価する。		
	定期試験	50%			
	レポート	%			
	演習・小テスト	%			
	その他	50%			
		100 %			

(出典 校外向けWebページ シラバス)

資料7-1-④-4
エレベータ, スロープ等の配置図



1階平面図

(出典 総務課施設係資料)

資料7-1-④-5
特別支援教育士のリスト

資料 24

H25.4.2

平成25年度の学生相談室について

1. スタッフ

相談室長；山田祐司（特別支援教育副室長、特別支援教育コーディネーター）

相談員；河添久美（5M担任）、田原麻里、永井 猛

看護師；三澤美千子（特別支援教育室補助員）

校外カウンセラー；古岡伸一（精神科医、月1回来校）

（鳥取大学医学部保健学科 地域・精神看護学講座 教授）

吉岡 奏（臨床心理士、月3回来校）

角南直美（臨床心理士、月3回来校）（寺地沙弥香先生の後任）

2. 活動内容

①投書箱チェック

②学生相談 三澤さんをインターカーとして、各相談員に割り振ってもらう。

③パンフレット（デザイン 渡瀬 茜） 年度当初に全学科配布

④入学生への学生相談室の紹介（1年生修学ガイダンス時；合同講義室）

⑤UPI（University Personality Inventory）検査 1年生修学ガイダンス時

⑥各種研修会への参加

中国地区学生相談室連絡会議（平成25年・26年度は呉高专が当番校）、

鳥取県西部地区高等学校教育相談研究会、

全国大学メンタルヘルス研究会、

中国四国地区メンタルヘルス研究協議会、

全国国立高等専門学校メンタルヘルス研究集会など

⑦講習会の実施

昨年は9月に井上雅彦先生と菊池義人先生、今年も同様に予定

⑧特別支援教育士養成事業（中国地区8高专連携プロジェクト）の継続

5名（山藤、田原、大庭、大野、松崎）が受講中

⑨移行支援会議の開催

3/27に実施済み（該当学生1名）

⑩健康教室～リラクゼーション講習会

3年生LHR木曜日7限（クラスごと） 後期に実施予定

3. 校外カウンセラーからの声

- ・高专は小・中とくらべて、大学と同じようで、まわりからのサポート態勢がとりにくく孤立しやすい。
- ・専門の重みを感じている学生が多い。専門でつまづくことは将来に対するつまづきと受け取り、挫折感が大きい。
- ・「相談に行っても何もかわらない」と割り切る学生が見られるが、話すことによって何かが変わることを知ってほしい。

4. 気になる学生への配慮

- ・早め早めに学生相談室に相談して下さい。
- ・担任、教科担当など1人で問題を抱え込まずに多くの先生との情報交換が有効です。

（出典 平成25年4月2日 教員会議資料）

資料7-1-④-6
障がいのある学生への支援体制

移行支援会議

日時；平成25年3月27日（水）10時

場所；米子工業高等専門学校 大会議室

参加者；該当学生に関する米子工業高等専門学校教職員

 カウンセラー 寺地紗弥香（臨床心理士）

司会； 米子工業高等専門学校 特別支援教育コーディネーター 永井猛学生相談室長

1. 開会

挨拶 米子工業高等専門学校 特別支援教育室長 松原孝史教務主事

2. 該当学生の修学支援について

(1) これまでの修学状況について (資料参照)

(2) 質疑応答

(3) これからの支援について

3. その他

資料7-1-④-7

障がいのある学生への支援(実績)

特別教育支援室および[]科としての対応

本件について時系列で以下に記す。

2014/2/3

[]学科長と[]で相談し、以下の通りの予定とした。

- ・2/6(木)の午後カウンセラーが来校されるため、卒業研究に関する対応について、取りあえず[]担任[]先生より事情説明をして頂く。会議には、[]担任、[]学生相談室長、[]看護師、[]が参加予定。
- ・[]教室への出入りについては、[]に注意するとともに、[]にも「[]教室に入りしない」ように1/31に注意済みなのでしばらく様子を見ることにした。

2014/2/6

[]カウンセラー、[]担任[]先生、[]学生相談室長、[]看護師、[]で[]君の卒業研究をめぐる問題について14:30~16:00の間話し合った。以下はその内容である。

- ・平成26年度は卒業研究指導教員も交えて支援会議を持つ方向にする
- ・指導教員は最初の人間関係の構築が重要で、最初から叱ったりしないように配慮する
- ・配属された研究室では、すべての学生に個別テーマを与えた方がよい
- ・研究テーマは手法の明確な、到達点が決まっているようなテーマがよい(プログラミングコンテストのテーマ?)プログラミングコンテストは[]先生が例として出ただけで、特にテーマを指定するものではない。([]2/7確認、追記)
- ・研究室のテーマをいくつか設定し、選択肢を持たせた方がよい
- ・卒業論文の提出期限については、ブレ期限を設けた方がよい
- ・卒業論文をチェックした後の修正は、具体的な指示内容(例えば、図をこのくらい大きくするなど)を与える
- ・卒業研究のための居残りや休業中の登校は、[]君だけに限らず、全員が参加する方向で考える
- ・卒業研究についての居残りなどについて、急な時間変更は不可。本人に希望(都合)を聞くことも大切
- ・クールダウンできる場所の確保が必要である。ただし、実際には1年次に利用した事実があるのみ

(出典 平成26年度移行会議資料)

資料 7-1-④-8

成績不振学生への学習支援の取り組み

成績不振学生リスト

配布資料〔専攻科 T A & 低学年の学習支援〕 No. 3						2013_10_23	
<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;">取扱</div>							

● 前期末試験で**不可単位が10単位以上**ある学生リスト?
TA①特訓教室に対象学生

学年	学科	平均	単位	54以下	席次	氏名	不可科目 ※朱書きは 49点以下, 網掛けは54 点以下	前期中間 [] 以下]	
1	M								↓
	D								↓
	C								↓
	A								↓
		人数							

学年	学科	平均	単位	54以下	席次	過年度	氏名	不可科目 ※朱書きは 49点以下, 網掛けは54 点以下	前期中間 [] 以下]	
2	M									⇒
	E									↓
	A									↓
		人数								

注1) 氏名の前の▲印は 留年生

注2) 右側の前期中間の欄に緑網掛けがある学生は、前期末試験対策 T A ①特訓教室の対象者

注3) 科目の色分けは、青色 (数学、物理、化学) , オレンジ (英語) , 黄色 (一般科目の数学、物理、化学、英語以外) , 色なし (専門科目)

注4) 右側の欄外の→ : ⇒ は変動なし, ↑ は成績向上 (太字は向上幅大) , ↓ は成績低下 (太字は低下幅大)

(出典 学生課教務・キャリア支援係資料)

資料7-1-⑤-1
学生部教員の役割分担

平成25年度学生部主担当者

- 森田 : 総括・県指導連盟
- 布施 : 生活指導・西部地区指導連盟
- 高増 : 学校行事・講演会・HR・女子学生指導・デザコン
- 田中 : 車両通学・ロボコン
- 大野 : クラブ・同好会
- 井上 : 学生会・プロコン

(出典 平成25年3月27日 学生部スタッフ会議議事録)

資料7-1-⑤-2
学生会担当教員の役割

学生部マニュアル「学生会関係」

6.1 学生総会（例年健康の日12:10より1体で、学生のみ）

- (1) 3月中に**決算書**が作成されていること、また各部への部費支払いが終了していることを確認する。
作成された決算書は、額面のみで構わないので、しっかりと確認すること。特に問題が見受けられない場合は、会計監査委員に帳面と額面の確認を行わせ、決算書下部に自署で記名させ、確認員を押下させる。
 - 決算書・領収書・収入の根拠（スポンサー費）を揃える。⇒決算書
 - 収入・支出の出納簿（帳簿）を打ち出しておく。
 - 前年度の繰越金は10万円以内とすること。
- (2) 4月に入れば学生会長に対して**各局の局長と副局長**を選出させる。ただし特定の学科、学年が集中すると業務に支障をきたす恐れがあるので、必ず選出案に目を通し、適宜アドバイスをする。 →体育局長はデザコンを考慮してA科を外す
- (3) 会計局長に対して**予算書**を作成させる。これに必要な情報として、当該年度の学生数を教える。（学生会入会金を把握するため、新入生、編入生数も別途教える。）作成された予算書は、額面のみで構わないので、しっかりと確認すること。
 - 25年度からクラブ活動補助費は人数割にする。（24年度に決定済み）
- (4) **体育館の使用と、靴置き用のシート借用**を体育教員に依頼する。
- (5) **同好会から部への昇格希望**の有無を学生係で確認する。希望がある場合は、1)申請書 2)メンバー表 3)活動内容 4)大会参加実績、成績一覧 を学生係で入手する。

（出典 学生部マニュアル、学生課学生係資料）

資料7-1-⑤-3
リーダー研修会の資料

平成25年度クラブ・同好会リーダー研修会実施要項（案）

1. 目的 リーダーとしての意識を高め、課外活動を行うために必要な知識と具体的な手法を習得する。
2. 日時 平成26年1月22日（水）16時30分～18時00分（質疑応答含む）
3. 場所 合同講義室
4. 講演 「未定」
講師 未定
5. 対象者 体育系クラブ・同好会
キャプテン・3～5年生のリーダー、及びマネージャー計3名以上
指導教員（希望者）
学生会体育局長
文化系クラブ・同好会
キャプテン・3～5年生のリーダー、及びマネージャー計2名以上
指導教員（希望者）
学生会文化局長
6. その他 参加者は筆記用具を持参すること。
7. 費用 謝金 20,000円

（出典 学生課学生係資料）

資料7-2-①-1

学生相談室のスタッフ・担当予定表

平成26年度学生相談室スタッフ

学生相談室長 布施 圭司 (教養教育科)
 学生相談員 永井 猛 (教養教育科)
 学生相談員 中島美智子 (教養教育科)
 学生相談員 松崎 安子 (教養教育科)
 看護師 上本菜々実 (保健室)
 校外カウンセラー
 吉岡 伸一 (精神科医)
 吉岡 ^{さやか} 奏 (臨床心理士)
 角南 ^{すなみ} なおみ (臨床心理士)

日	曜	担当	場所	日	曜	担当	場所
1	木	松崎先生	相談室又は 研究室	16	金	校外カウンセラー	
2	金	校外 カウンセラー		17	土		
3	土			18	日		
4	日			19	月	永井先生	相談室又は 研究室
5	月			20	火	中島先生	相談室又は 研究室
6	火			21	水		
7	水	校外 カウンセラー		22	木	松崎先生	相談室又は 研究室
8	木	松崎先生	相談室又は 研究室	23	金	校外カウンセラー	
9	金	校外カウンセラー		24	土		相談室又は 研究室
10	土			25	日		
11	日			26	月	永井先生	
12	月	永井先生	相談室又は 研究室	27	火	中島先生	相談室又は 研究室
13	火	中島先生	相談室又は 研究室	28	水		
14	水	校外 カウンセラー		29	木	松崎先生	相談室又は 研究室
15	木	松崎先生	相談室又は 研究室	30	金	校外 カウンセラー	
				31	土		

相談時間
 ・校内相談員は、15時30分からです。
 ・校外カウンセラーは、16時00分からです。

日 月 火 水

(出典 平成26年度 学生相談室の手引き・平成26年5月 学生相談室前掲示板)

資料 7-2-①-2
学生相談室の手引き



学生相談室の手引き

- 進学か就職か、進路のことで迷っている
- 自分の性格を知りたい
- 寮生活になじめない
- 友人関係のことで悩んでいる
- 今のままでいいのか時々不安になる
- 家庭のことで悩んでいる
- 金銭的なことで悩んでいる
- 将来のことを考えると不安になる
- 勉強に身が入らない
- 部活動のことで悩んでいる
- 何事にも意欲がわかない
- ネットトラブルで困っている
- e t c ...

平成26年度学生相談室スタッフ

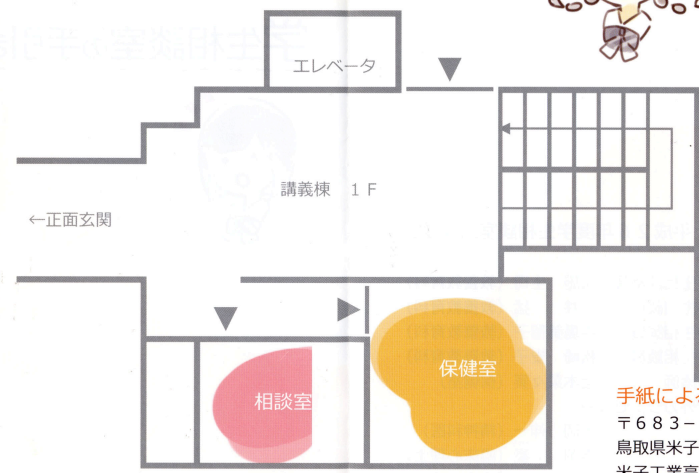
学生相談室長	布施 圭司 (教養教育科)
学生相談員	永井 猛 (教養教育科)
学生相談員	中島美智子 (教養教育科)
学生相談員	松崎 安子 (教養教育科)
看護師	上本菜々実 (保健室)
校外カウンセラー	
	吉岡 伸一 (精神科医)
	吉岡 奏 (臨床心理士)
	角南なおみ (臨床心理士)

相談時間
毎週 月～金曜日 15:00～
※校外カウンセラーとの相談は保健室で予約してください。
※教員スタッフの担当時間は保健室前に掲示しています。

相談の受付窓口
相談室に来られない場合は、電話や手紙による相談の受付ができます。
相談箱もあります (玄関入口・保健室前)。



相談した内容の秘密は守ります。
もちろん、あなたが話したことをあなたの同意なしに担任や保護者に伝えることはありません。



手紙による受付
〒683-8502
鳥取県米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校
学生相談室
※封書で返しますので、必ず連絡先住所と氏名を記入してください。

直通電話による受付
0859-24-5262
受付時間 月～金曜日
(9:00～17:00)



デザイン 高増研究室

(出典 平成26年度 学生相談室の手引き)

資料7-2-①-3

セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則

米子工業高等専門学校におけるセクシュアル・ハラスメントの防止等に関する細則

(趣旨)

第1条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）におけるセクシュアル・ハラスメントの防止等については、独立行政法人国立高等専門学校機構セクシュアル・ハラスメント防止等に関する規則（（平成16年4月1日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第26号）及び他の法令等に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(防止等対策)

第2条 本校におけるセクシュアル・ハラスメントの防止等に関し適切な対策を講じるため、運営会議において次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 防止及び排除に関すること。
- (2) 苦情相談体制に関すること。
- (3) 事実関係の調査に関すること。
- (4) 加害者に関する指導等に関すること。
- (5) 被害者に関するカウンセリングに関すること。

(調査委員会の設置)

第3条 校長は、セクシュアル・ハラスメントの事実関係等の調査を行うため、セクシュアル・ハラスメント調査委員会（以下「調査委員会」という。）を必要に応じ、設置する。

2 調査委員会の委員は、校長がその都度指名する。委員には、外部の者を指名することができる。

(後略)

(出典 規則集)

資料 7-2-①-4
授業料免除者数 (3年分)

年度	区分	在学生数	申請者数	全額免除	半額免除	否免除者	比率%	収入予定額	免除可能額	実施額	免除率
19	(前期)	1,102	142	50	48	44	8.9	129,264,600	6,851,024	8,680,200	6.72
	(後期)	1,097	117	48	53	16	9.2	128,678,100	6,819,939	8,738,850	6.79
24	(前期)	437	66	29	29	8	13.3	51,260,100	3,485,687	5,102,550	9.95
	(後期)	435	69	29	28	12	13.1	51,025,500	3,469,734	5,043,900	9.89
25	(前期)	434	66	42	16	8	13.4	50,908,200	3,716,299	5,865,000	11.52
	(後期)						#DIV/0!	0	0	0	#DIV/0!

(出典 学生課学生係資料)

資料 7-2-①-5
日本学生支援機構奨学金利用学生数

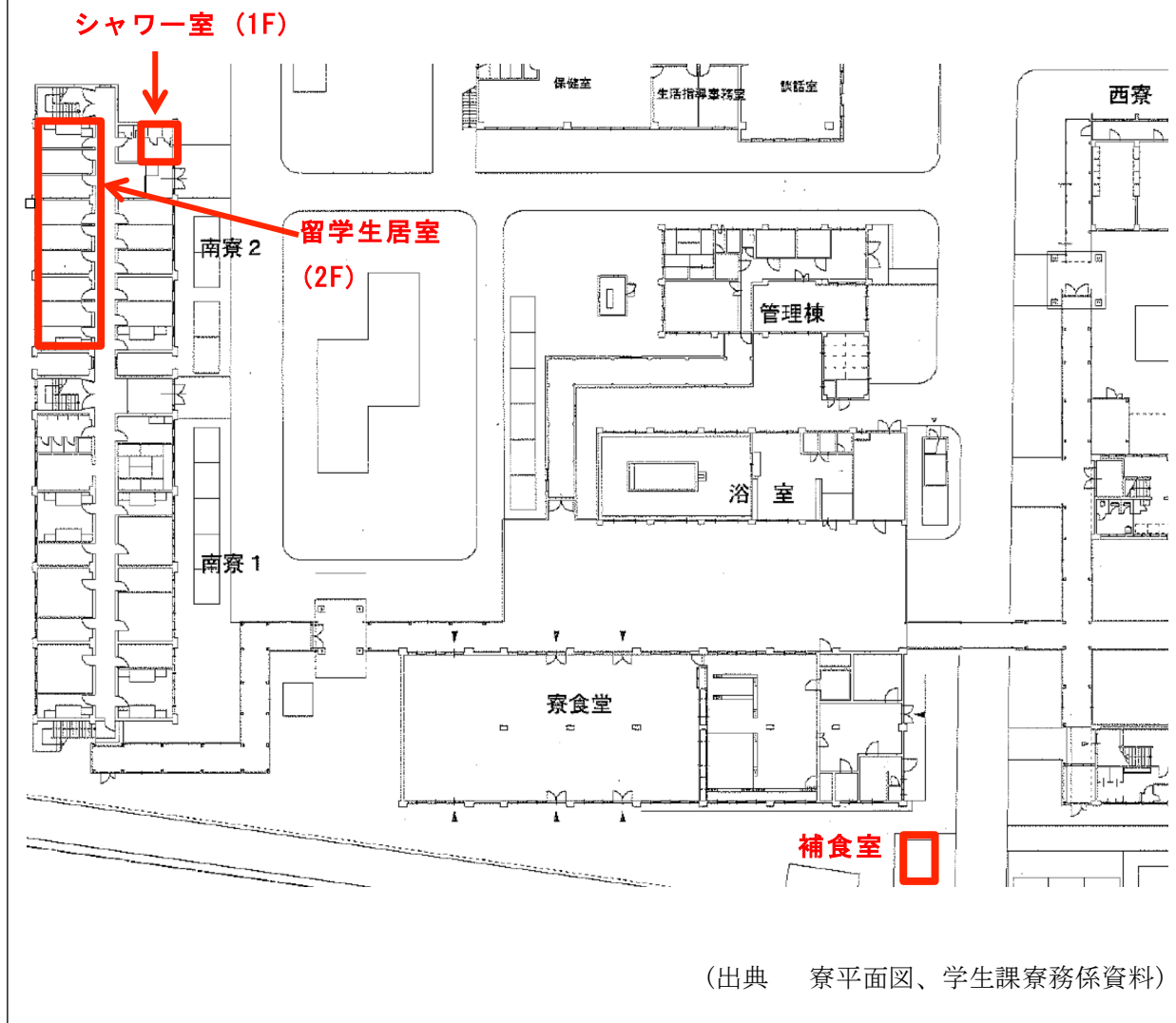
5 日本学生支援機構奨学生数

平成26年3月現在

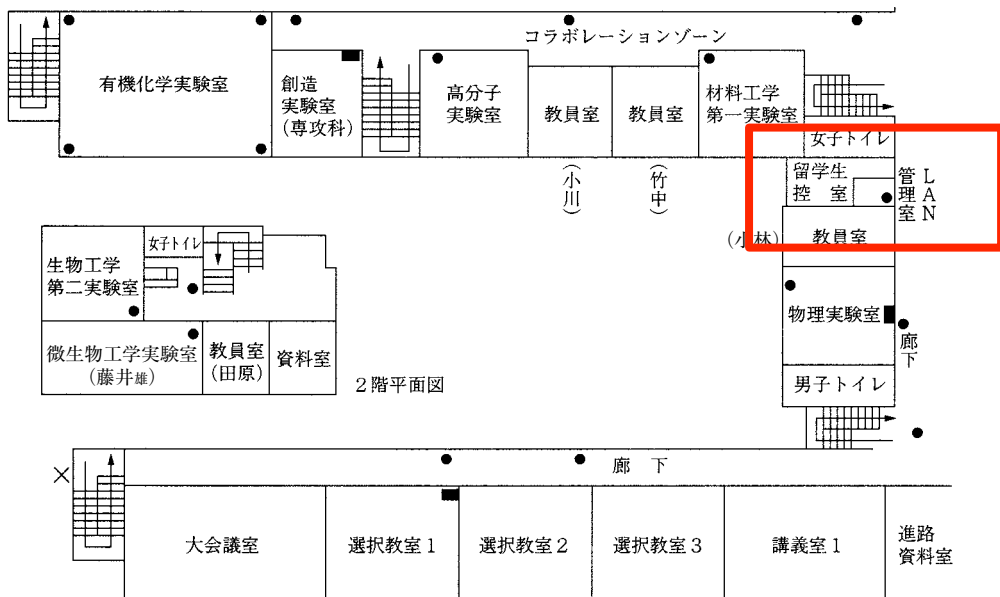
種別	学年	第一種奨学金		第二種奨学金	第一種奨学金 かつ 第二種奨学金	計	在籍学生数	在籍学生に 対する比率 %
		自宅通学	自宅外通学					
本科	1 学年	18	13			31	207	15.0
	2 学年	10	10			20	212	9.4
	3 学年	6	7			13	202	6.4
	4 学年	14	10	1	2	27	199	13.6
	5 学年	19	10	3	0	32	184	17.4
専攻科	1 学年	1	0	2	0	3	26	11.5
	2 学年	2	4	0	0	6	26	23.1
計		70	54	6	2	132	1,056	12.5

(出典 平成26年度学校要覧 P. 32)

資料7-2-②-1
学生寮における留学生の生活支援
(補食室・シャワー室の完備)



資料7-2-②-3
留学生控室の配置図、写真



(出典 平成26年度学生便覧 P. 135)

資料7-2-②-4

留学生と日本人寮生との交流会実施

平成25年度 高砂寮 留学生 交流会

10月20日 日曜日
午後 3時～

場所

晴天時：グラウンド
雨天時：第二体育館

参加される方にはジュースを準備します！

WWW.YONAGO-K.AC.JP

日頃あまり、交流が出来ない留学生と親睦を深めてみませんか？

晴天時

サッカー

雨天時

フットサル

連絡

参加者を募るので、配布済みのアンケートに御協力をお願いします。10/18の夜点呼に回収します。



(出典 平成25年度 留学生交流会のチラシ)

資料7-2-②-5

留学生の地域交流

平成25年10月吉日

米子工業高等専門学校 様

彦名公民館
館長 福嶋 一男

彦名公民館祭の開催について（ご案内）

錦秋の候、貴職にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃より彦名公民館の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
さて、本年度の彦名公民館祭を下記の日程で開催いたします。昨年度は貴校留学生の数名の方に日本文化の一端に触れていただくため、餅つきに参加いただきました。本年も餅つきを行いますので、ご都合の付く方に参加していただき、楽しい一時をお過ごしいただきますようご案内申し上げます。

記

- 開催日時
10月26日（土）午前10時～午後4時
27日（日）午前9時～午後3時

- 開催場所
彦名公民館

*参加希望の方のお名前、出身国、参加日時を事前にお知らせいただければ幸いに存じます。よろしく願いいたします。

担当 彦名公民館 谷尾
TEL 29-0536 FAX 29-0582

（出典 平成25年度 地域公民会祭の案内）

資料7-2-②-6

留学生交流会資料

留学生との交流会を開催しました。

部署 : 教務・キャリア支援係

公開日時 : '13/02/05

米子高専では2月1日(金)に留学生との2回目の交流会を実施しました。

この交流会は、米子高専に在籍する外国人留学生とチューターの日本人学生、関係教職員が一堂に会し、留学生が日頃抱えている留学生活全般についての悩みや意見等を聞き、情報交換等を行い、相互の親睦を深め、卒業する留学生の送別会も兼ねて毎年行われています。



当日はまず、今年度卒業予定の留学生3名が米子高専での思い出話を含めた挨拶を上手な日本語でおこないました。その後、3・4年生の留学生8名がそれぞれ今後の抱負等を述べました。また教職員も校長以下40数名が参加し、留学生らとの会話を楽しみ、盛会のうちに終了しました。



(出典 校外向けWebページ)

留学生OBとの交流会を実施しました

部署 : 教務・キャリア支援係

公開日時 : '13/03/12

米子高専では3月4日(月)・5日(火)に「留学生OBとの交流会」を実施しました。1日目は「高専留学生の大学への進学とその後の進路について」と題して、平成17年4月から平成20年3月まで本校電気工学科に在籍し、卒業後は日本の大学及び大学院に進学したカルナーティラカ・ドゥミンダゥ氏を講師として招き、本校留学生に対して進路決定にあたっての心構えや、留学生としての日ごろの勉学を含めた留学生生活全般についての講演を行いました。また、2日目は前日の講演内容をもとに自由に質疑応答を行う助言・意見交換会を行いました。

参加した留学生は、高専留学生としての先輩である講師の話を熱心に聴いており、大学生活の様子や就職に対する考え方などについて活発に質問したり、自分の夢を語ったりなどして、有意義な交流会となりました。



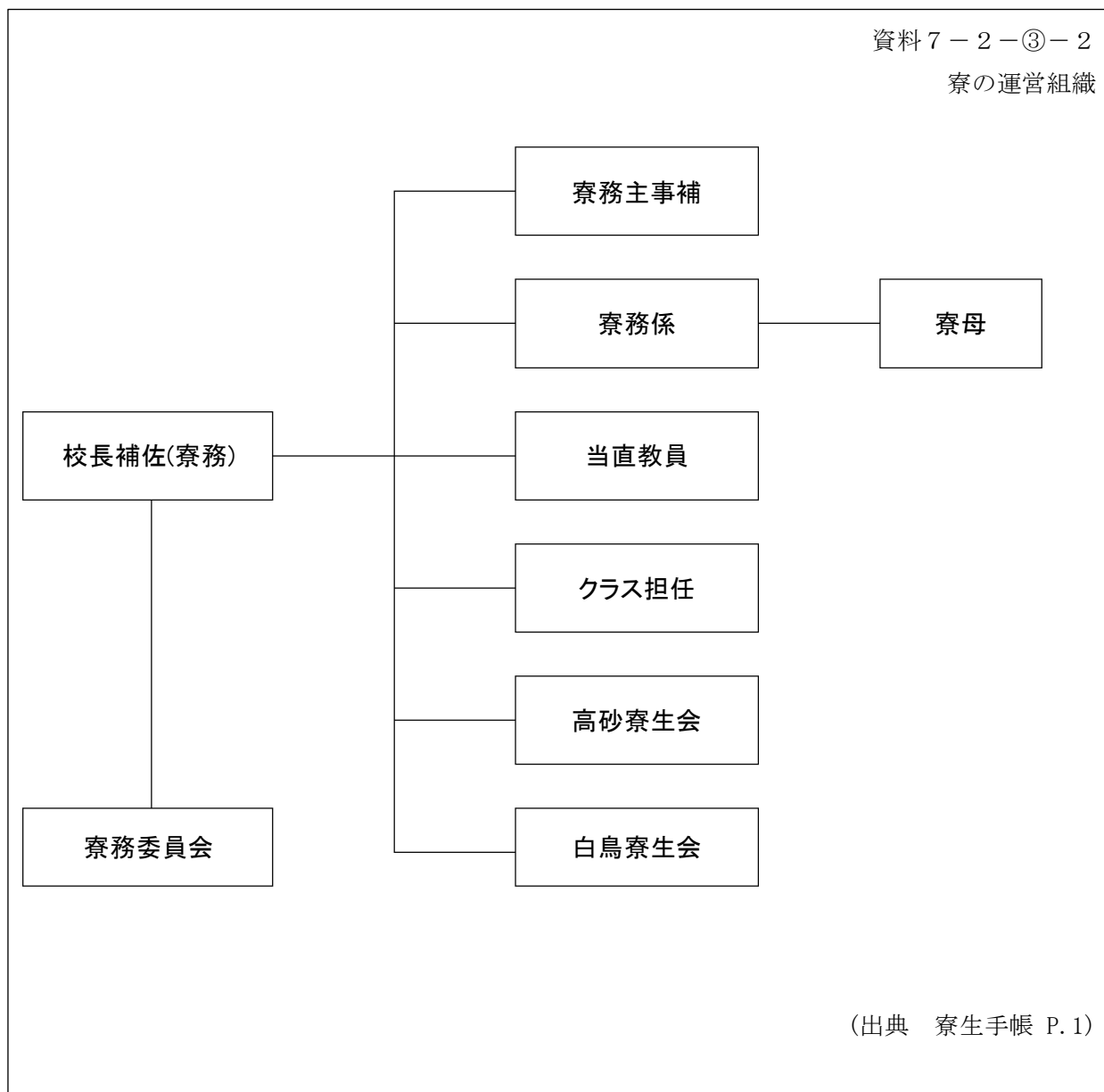
(出典 校外向けWebページ)

資料7-2-③-1
棟別居室数一覧表

寄宿舍名		対 象 学部等	男子 定員	女子 定員	総定員
にしりょう 西 寮	3名×33室	全学生	(0) 99人	(0) 0人	(0) 99人
新規格寮 複	S38.39.45年度設置 RC-3 1,381 m ²				
ひがしりょう 東 寮	1名×15室	全学生	(7) 15人	(0) 0人	(7) 15人
混住寮 個	S40年度設置 RC-3 326 m ²				
みなみりょう 南 寮	1名×25室 2名×23室	全学生	(0) 71人	(0) 0人	(0) 71人
新規格寮	S44年度設置 RC-4 1,166 m ²				
しんなりりょう 新南寮	1名×66室	全学生	(7) 66人	(0) 0人	(7) 66人
新寮, 混住寮 (個)	H4年度設置 RC-4 868 m ²				
あさぎりりょう あさぎり寮	1名×24室 2名×6室	全学生	(0) 0人	(0) 36人	(0) 36人
新寮 (個・複)	H4年度設置 RC-4 738 m ²				
ゆうぎりりょう ゆうぎり寮	2名×14室	全学生	(0) 0人	(0) 28人	(0) 28人
新規格寮	S40年度設置 RC-3 913 m ²				
合 計	1名×130室 2名×43室 3名×33室	全学生	(14) 251人	(0) 64人	(14) 315人

(出典 学生課寮務係資料)

資料7-2-③-2
寮の運営組織



(出典 寮生手帳 P.1)

資料7-2-③-3

巡回記録

巡回記録

平成 年 月 日 ()

寮務主事

項目	西寮(巡回者)		南寮(巡回者)		東寮(巡回者)	
	部屋番号	学科・学年・氏名	部屋番号	学科・学年・氏名	部屋番号	学科・学年・氏名
寝 坊						
ドア鍵 閉め 忘れ						
机鍵 閉め 忘れ						
窓鍵 閉め 忘れ						
電灯 消し 忘れ						
スイッチ 切り忘れ						
エアコン リモコン						
清掃状況 不良						
禁止物品 持込み						
その他						

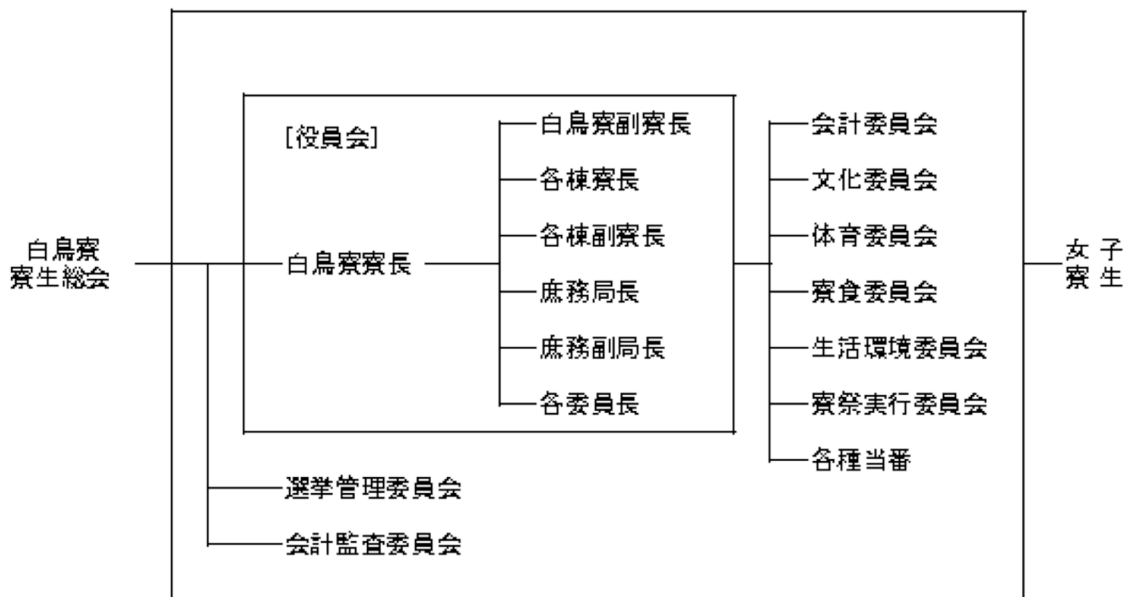
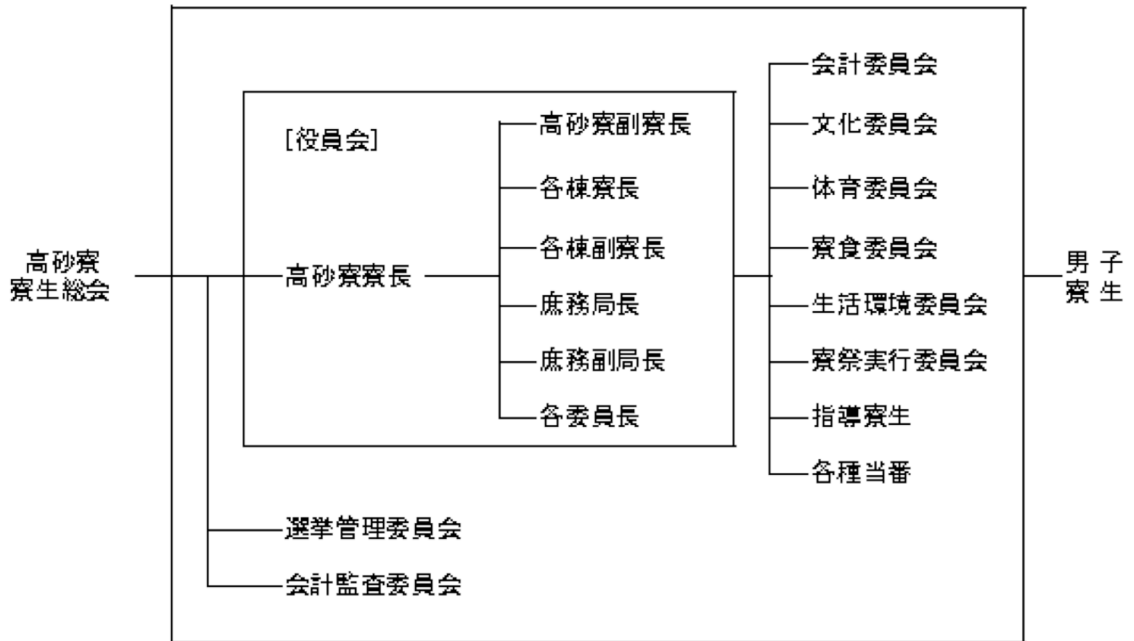
共同利用場所の状況 ◎良い ○普通 △やや悪い ×悪い

西寮			南寮			東寮		
1F 玄関		3F 廊下	1F 玄関		3F 廊下	1F 玄関		3F 廊下
廊下		補食室	廊下		補食室	廊下		洗面所
補食室		洗面所	補食室		洗面所	補食室		
洗面所			洗面所		4F 廊下	洗面所		
2F 廊下			2F 廊下		補食室	廊下		
補食室			補食室		洗面所	2F 廊下		
洗面所			洗面所			洗面所		

(出典 学生課寮務係資料)

資料7-2-③-4

寮生会組織



(出典 寮生手帳 P.2)

資料 7-2-③-5

寮生のニーズ把握(学年別集会の開催)

教員会議資料(寮務部)

資料 5

平成 25 年 5 月 1 日

1. 寮の新たな取り組み

(1) 男子寮の勉強会(寮生会独自の取り組み)

- ・1・2年生対象, 毎週休日最終日 20:30~22:00, 西寮は補食室(1年生)・南寮は勉強部屋(2年生)
- ・昨年度までの試験期間前の勉強支援の代わりに行なう。1年生には自習時間記録シートを記入させる。

(2) 学年別集会

- ・寮務部教員からの連絡と寮生からの要望・質問等聞く場を設ける。(これまでは全体に対してのみ)
- ・男子寮は第3水曜日, 女子寮は第3火曜日, 会場は寮食堂。

(3) 寮生の生活指導

1) アルバイトに対する指導

- ・『学生指導の手引き』に準拠して指導を行なう。
- ・アルバイトを希望する寮生には, アルバイト許可願を提出するよう指導する。
- ・学生係に提出されたアルバイト許可願を見せてもらい, 必要に応じて再提出または取り下げの指導を行なう。

2) 服装・みだしなみの指導

- ・『学生指導の手引き』および『学生便覧』に準拠して指導を行なう。

3) 寮・学校のルール違反に対する指導

- ・注意しても改善が見られないときは違反点数(2点)を課す。

(4) 男子寮の点呼不在者への対応

- ・昨年11月より, 点呼不在の場合には寮生会役員が所在確認を行っている。
- ・所在確認がとれた点呼不在者 → 当直室へ帰寮報告をするよう指導する。(寮内に居た場合も同様)
- ・当直室へ報告に来たかどうかを当直日誌に記載してください。夜は23時まで, 朝は8時30分まで。

(出典 平成25年5月1日 教員会議資料)

資料7-2-③-6

寮生学習支援の取り組み(自習時間の設定)

学生寮の目標

自立・協調・奉仕

日課表

区分	時間	摘要
点呼*	前期 7:30	開始 5 分前に起床放送 白鳥寮の玄関開錠は 7:30
	後期 7:40	
洗面・清掃	起床から登校までの間に適宜	
朝食	7:30～8:30	
登校	8:35	
昼食	(平日) 11:30～13:00	
	(休校日) 12:00～13:30	
自由時間	下校時から自習開始まで	
夕食	17:30～19:30	
入浴	女子 17:30～22:30	
	男子 17:30～23:00	
自習時間	前期 20:30～23:00	
	後期 20:00～23:00	
門限・点呼*	女子 20:30	白鳥寮は、門限時間に玄関を施錠
	男子 22:00	
寮内自由時間	23:00～24:00	
消灯・就寝	24:00 1～3年	延灯は各棟寮長へ願い出る。

(出典 寮生の日課表、学生課寮務係資料)

資料7-2-③-7

寮生学習支援の取り組み(低学年に対する勉強会の実施)

2013/11/18(mon)

1年生, 2年生男子寮生へ

高砂寮文化委員長 E3 可知佳晃

後期中間試験対策・勉強支援について

もうすぐテストが始まります。そこで今回も勉強支援を行いたいと思います。今回で3回目のテストですが気を抜かず頑張らしましょう。

<勉強会>

1年生

<第1回目> 11月19日(火) 20:00~21:50 @各補食室(※割り振りは補足のようにする)

=>学科無関係で勉強する。一般科目の教養を深める。

<第2回目> 11月24日(日) 20:00~21:50 @寮食堂

=>学科毎で勉強する。専門科目の教養を深める。

<第3回目> 11月28日(木) 20:00~21:50 @各補食室(※割り振りは補足のようにする)

=>学科無関係で勉強する。一般科目の教養を深める。

2年生

<第1回目> 11月19日(火) 20:00~21:50 @寮食堂

=>学科無関係で勉強する。一般科目の教養を深める。

<第2回目> 11月24日(日) 20:00~21:50 @寮食堂

=>学科毎で勉強する。専門科目の教養を深める。1年生への勉強指導も含む。

*補足

1班=104 側補食室	2班=108 側補食室	3班=204 側補食室	4班=208 側補食室
5班=304 側補食室	6班=308 側補食室		

<自習時間記録シート>(1年生)

今週から自習時間記録を開始する。前期と同じように指導寮生からチェックを受けること。また、シートのみを日曜日の夜点呼時に回収する。

*勉強会日のダンス練習は原則中止とする。場合によっては寮寮実行委員長が点呼後の練習を認める。

*勉強会日の1年生の点呼後の自習時間は自主判断で実施すること。

*後期中間試験後の勉強会日程は後日連絡する。

(出典 平成25年度後期中間試験対策 勉強支援についての案内、学生課寮務係資料)

資料 7-2-③-8

寮生学習支援の取り組み (自習時間記録シート記入)

No. 13

2013年度	自習時間記録シート	号室 指導寮生 _____ さん
	米子工業高等専門学校 寮生委員会	年 科 名前 _____

月	日	曜日	今回の自習内容		次回の自習予定		指導寮生 チェック	
			教科	内容	教科	内容		
11	17	日						
11	18	月						
11	19	火		【勉強会@補食室】				
11	20	水		【文化講演会】				
11	21	木		【球技大会】				
							寮務主事	寮務主事補

【注意】 ※ページ数など詳しく丁寧に書くこと

(出典 自習時間記録シート、学生課寮務係資料)

資料 7 - 2 - ④ - 1
進路指導体制 (組織図)

Organization

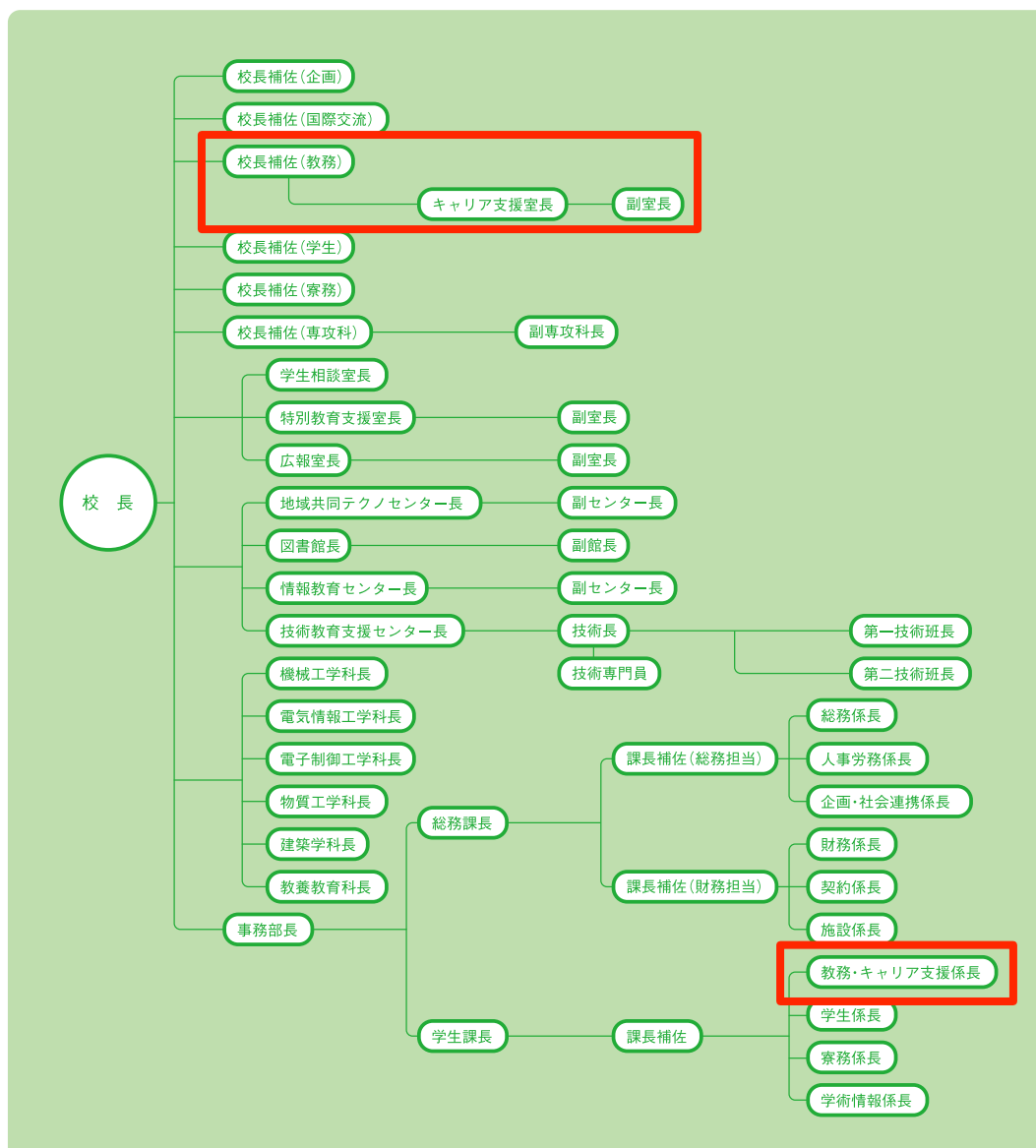
03 組織

1 教職員現員

平成26年5月1日現在

区分	教 員						職 員	合 計
	校 長	教 授	准教授	講 師	助 教	計		
教職員	1	33	21	5	16	76	44	120

2 組織図



(出典 平成26年度学校要覧 P. 13)

資料7-2-④-1
進路指導体制（組織図）

2012年5月15日
キャリア支援会議資料

平成24年度 第1回キャリア支援会議

■出席者

竹内（教務）、山口（専攻科）、早水（1年担任代表）、酒井（2年担任代表）、
櫻間（3年担任代表）、権田英（4年担任代表）、河添（M科代表）、庄倉（B科代表）、
能登路淳（D科代表）、田中晋（C科代表）、熊谷（A科代表）
キャリア支援室 玉井、原、荒木、竹上

■配布資料一覧

・平成23年度の求人倍率・内定率、・活動予定表、・特別日課（案）、・特別行事（案）

■議事

- (1) 平成23年度 求人倍率および内定率について
- (2) 平成24年度 キャリア支援活動予定について
- (3) インターンシップについて
 - ・試験期間にかかるインターンシップは原則認めない。
 - ・特別欠席は、教務委員会などの審議が必要なため、直前では対応できない。
- (4) 本科学生のキャリア形成と各種行事について
- (5) 特別日課について
- (6) 特別行事について
 - ・支援学生について
- (7) 就職セミナーについて
 - ・時期は
 - ・回数、内容について
- (8) 大学説明会について
 - ・キャリア支援室の窓口の説明会は、年3回とする。
 - ・4年生の早い時期に意識させることが大事
 - ・ベネッセや編入学ための模試等の必要性
- (9) 企業説明会について
 - ・今年度は、2013年2月3日（日）、米子コンベンションセンターにて
- (10) その他
 - ・3月の保護者懇談会について
 - 1日でほとんどの学生に対して行うことは時間的余裕がないのでは。
 - コンベンションでの企業説明会で1/4～1/3 くらいの保護者とは行っても良いのでは。

（出典 平成24年5月15日 キャリア支援会議資料）

資料7-2-④-1

進路指導体制(年間スケジュール)

2012.5/14

キャリア支援会議資料

2012年度予定表

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	専攻科1年	専攻科2年
4月	4/10 大山オリエンテーション 4/11 キャリア支援ガイダンス			4/26 5年生によるインターンシップ説明会	4/26 大学合同説明 4/26 インターンシップ説明 各学科2名		4/26 大学合同説明
5月		5/18LHR担当		5月中旬インターンシップ先一覧表配布		5月中旬インターンシップ先一覧表配布	
6月	6/中旬資格ガイドブック配布 6/27LHR担当	6/中旬資格ガイドブック配布	6/中旬資格ガイドブック配布	6/中旬資格ガイドブック配布	6/中旬資格ガイドブック配布	6/中旬資格ガイドブック配布	6/中旬資格ガイドブック配布
7月							
8月							
9月	9/10 頃オープンファクトリー 9/28 講演会(特別日課)	9/10 頃オープンファクトリー 9/28 5年生による就職・進学説明(特別日課)	9/10 頃オープンファクトリー 9/28 OB・OGによる社会人経験談(特別日課)	9/28 (特別日課) 起業家による講演	9/28 (特別日課) 経済に関する講演		
10月	10/17~19 (特別行事) クラス行事など	10/17~19 (特別行事) ・クラス行事・校外研修	10/17~19 (特別行事) ・工場見学旅行	10/17~19 (特別行事) ・インターンシップ報告会 ・鳥取県内企業説明会(鳥取県との連携)	10/17~19 (特別行事) 講演会 句な事柄、社会保険制度、知財	10/17~19 (特別行事) ・インターンシップ報告会 ・鳥取県内企業説明会(鳥取県との連携) ・講演会(句な事柄、社会保険制度、知財)	
11月	11/7LHR担当	11/18LHR担当	11/8LHR担当				
12月			12/13LHR担当				
1月				1/下旬 中四国地区企業合同説明会		1/下旬 中四国地区企業合同説明会	
2月			2/3 企業合同説明	2/3 企業・大学合同説明会(コンベンション) 2/21・22 就活セミナー		2/3 企業・大学合同説明会(コンベンション) 2/21・22 進路セミナー	
3月				3/17 頃 ・保護者進路懇談 ・大学合同説明会		3/17 頃 ・保護者進路懇談 ・大学合同説明会	

(出典 平成24年5月14日 キャリア支援会議資料)

資料7-2-④-1

進路指導体制（年間スケジュール）

平成25年度第1回キャリア支援会議議事要旨

- 日時 平成25年6月12日（水） 16時30分～17時00分
- 場所 大会議室
- 出席者 キャリア支援室長・M科代表（松本至），副専攻科長（小川），第1学年（早水），第2学年（原豊），第3学年（梗間），第4学年（青柳），5M担任（河添），5E担任・E科代表（庄倉），5D担任・D科代表（能登路淳），5C担任・C科代表（藤井雄），5A担任・A科代表（西川），学生課長（古杉）
- 欠席者 キャリア支援副室長・教務主事補（南），教養教育科代表（竹内）
- 議題
1. 平成24年度求人倍率および内定率について
室長から資料に基づき説明があった。
 2. 平成25年度キャリア支援活動予定について
室長から資料に基づき説明があり，予定表のとおり実施することで了承された。
なお，実施希望の事業などがあればご意見をいただきたい旨の発言があった。
また，オープンファクトリについては，米子高専振興協力会より学生を集めてほしいとの要請があり，4年生もインターンシップに重ならない参加可能である旨説明があった。
 3. インターンシップについて
室長から現時点での状況について報告があった。
さらに，実施にあたり次のとおり確認がなされた。
 - ・試験期間にかかるインターンシップは原則認めないこと。
 - ・特別欠席は，教務委員会などの審議が必要なため，直前では対応できないこと。
 （※直前では出さないよう注意願いたいとの発言あったため，委員より，いつまでかとの質問があり，教務委員会の日程確認があった。）
 4. オープンファクトリについて
室長から1年生から3年生に対しての説明を7月のLHRの時に実施す旨の報告があった。
また，人数が多ければバスを使用することも考えているので，参加者を増やす方法の提案要請があった。
 5. 特別日課のキャリア支援事業について
室長から資料に基づき説明があり，日程は教務委員会で決定した旨，また，講演会をキャリア支援室が担当する旨の報告があった。
なお，講演会の講師については，各担任団で検討し提案してほしい旨依頼があった。
 6. 特別行事のキャリア支援事業について
室長から資料に基づき説明があり，日程は教務委員会で決定した旨，また，県内企業紹介フェア及びキャリア講演会をキャリア支援室が担当する旨の報告があった。
なお，各担任団で決定する事項については，昨年度同様，各学年で相談し決めて欲しい旨要請があった。
 7. 就活セミナーについて
室長から資料に基づき時期・回数・内容等について説明があった。
また，外部講師としてメディア総研に依頼する予定である旨連絡があった。
時期については，学年末試験後の補講期間の最終日に実施する方向で調整をとる旨説明があった。
内容については，面接の仕方である旨説明があった。
 8. 大学（大学院）の説明会について
室長から資料に基づき説明があり，昨年度と同様に行事を集約し，1月開催の米子コンベンションセンターでの企業・大学説明会，3月開催の保護者懇談会，4月開催の健康の日の年3回行う予定である旨連絡があった。
学生への周知については，今後検討することとする。
 9. 企業・大学説明会について
室長から今年度は，平成26年1月25日（土）米子コンベンションセンター国際会議場で実施する予定である旨連絡があった。
 10. その他
特になし

(出典 平成25年6月12日 キャリア支援会議議事要旨)

資料7-2-④-2

進路懇談会(本科4年生)における個別相談の実績

2014年度 進路指導資料

2013.12

学籍番号	氏名	進路希望調査(第1回)
		就職(名南製作所)
		就職
		就職
		進学
		就職(日本オーチスエレベータ)
		就職
		進学
		就職
		進学(教育系大学:英語)
		就職
		就職(公務員)
		就職(JR 西日本)
		就職
		就職(中国電力)
		就職
		就職(公務員)
		就職、進学
		就職、進学
		就職(DISCO)
		就職
		進学(専攻科)
		就職
		就職(中電、関電、古野電気)
		進学(豊橋技大)
		就職

(出典 学生の進路希望先一覧、建築学科資料)

資料7-2-④-3

大学院説明会(専攻科課程の学生向け)

平成25年2月20日

入試ご担当者様

米子工業高等専門学校

キャリア支援室長 玉井 孝幸

進路懇談会の詳細ご連絡

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素から本校学生の編入学等に関しましては、一方ならぬご理解、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度は、本校の進路懇談会にご出席の返事を頂きありがとうございました。

実施につきましては下記のとおりとさせて頂きましたので、何卒よろしく願いいたします。

敬具

記

ご参加 平成25年3月3日(日) 午前の部 9:40~12:30

日時 午後の部 13:40~17:00

(受付開始9:00~)

米子工業高等専門学校(鳥取県米子市彦名町4448 TEL:0859-24-5026)

場所 ※2階学生課入り口で受付いたしております。

その他 ・プロジェクターの使用は卓上に限ります。

・スクリーンの使用は出来ません。

・資料を事前に送られる場合は、土・日曜日は郵便・宅配便とも受け取りができませんので、2月28日(木)までに下記連絡先に届くよう手配願います。

・お車でお越しの際は、正門入ってすぐの「外来者駐車場」にお止めください。

・昼食ですが、学校周辺は食堂等がありませんので、事前にご準備願います。

・当日返送されるお荷物がありましたら、受付に宅配伝票(着払)を準備いたしますのでご利用ください。

・本校学生数 219名

本科4年生 192名(機械40名,電気38名,電子34名,物質46名,建築34名)

専攻科1年 27名

連絡先:米子工業高等専門学校学生課教務・キャリア支援係

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448

TEL 0859-24-5026 FAX 0859-24-5029

E-mail: kyaria@yonago-k.ac.jp

(出典 進路懇談会(大学院説明会)の詳細案内、学生課教務・キャリア支援係資料)

資料7-2-④-4
本校主催の合同企業説明会

平成24年11月29日

関係者 各位

米子工業高等専門学校長
齊 藤 正 美
(公印省略)

企業・大学合同説明会のご案内について

平素は、本校のキャリア教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

平成25年度卒業予定者の就職活動が12月に始まります。本校では例年、「企業・大学合同説明会」を開催しており、本校の学生はこのころが実質の就職活動の始まりとなっています。

昨年度は約110社の企業を迎え、本科4年生および専攻科1年生が約220名、インターンシップ先を考える本科3年生が30名ほど参加した他、保護者も30名ほど参加されました。

今年度も平成25年 2月 3日（日）に米子コンベンションセンターで実施する予定にしています。別紙詳細をご覧のうえ、ぜひご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

今後とも、本校のキャリア教育にご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



写真 昨年度 企業合同説明会の様子

(出典 平成24年度企業・大学合同説明会の案内資料)

資料7-2-④-5
低学年学生への進路指導
(オープンファクトリー：地元企業の見学や職場体験)

平成25年 7月10日

米子工業高等専門学校振興協力会
会員 各位

米子工業高等専門学校
キャリア支援室長
松本 至

オープンファクトリーにおける学生受け入れのお願い

日頃は、本校のキャリア支援にご理解ご協力いただきありがとうございます。

昨年度に引き続き今年度も下記のとおり「オープンファクトリー」を行う予定にしております。

つきましては、趣旨をご理解いただくとともに、学生の受け入れをご検討いただき、本企画に参加いただきますようお願いいたします。

記

■実施期間 平成25年9月2日(月)～9月6日(金)

■実施要領 1. 受入可能な場合は、7月16日(火)までに別紙により回答願います。

(実際に実施するのは、参加可能な日の中の1～2日となります。実施をお願いする日は、事前にお知らせします。)

2. オープンファクトリーの参加時間は1社あたり1～2時間程度とします。

今年度は、1日で複数社(3社程度)に順次参加する「コース」も考えています。

3. 参加いただきます企業様には、後日詳細についてご連絡差し上げます。

■連絡先 米子工業高等専門学校学生課教務・キャリア支援係

TEL: 0859-24-5026 FAX: 0859-24-5029

E-mail: kyaria@yonago-k.ac.jp

以上

(出典 平成25年度オープンファクトリー案内資料)